

景気動向調査結果

(令和5年4月分)

長野県産業労働部

この調査は、県内企業 700 社（製造業 300 社（うちヒアリング 65 社）、非製造業 400 社（建設業、情報サービス業、小売業、卸売業、飲食業、宿泊業））を対象に、令和 5 年 4 月末の状況（前年同期、3 か月前と比較した状況、3 か月後の状況予想）について、令和 5 年 5 月にヒアリング又は書面により行ったものです。

なお、平成 23 年度の調査から、従来の「製造業」に、「非製造業」（建設業、情報サービス業、小売業、卸売業、飲食業、宿泊業）も加えて実施しています。

また、平成 26 年度の調査から、非製造業の調査対象企業数を従来の 600 社から 400 社に変更し、平成 29 年度の調査から、小売業と卸売業、飲食業と宿泊業を分けて結果を発表しています。

回答企業数は、438 社（製造業 232 社（うちヒアリング 65 社）、非製造業 206 社）で、回答率は 62.6 パーセントでした。

※調査結果の概要は、インターネットで御覧になれます。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/sansei/sangyo/shokogyo/toukei/kekka/index.html>

お問い合わせ先：製造業について

長野県産業労働部産業政策課（TEL 026-232-0111 内線 2919）

非製造業について

長野県産業労働部経営・創業支援課（TEL 026-232-0111 内線 2962）

令和5年4月の景気動向

1 総論

長野県経済は、エネルギー・原材料価格高騰等の影響により依然として厳しい状況が続き、回復に向けた動きに一服感がみられます。

製造業の業況は、自動車関連の一部に需要の回復がみられるものの、継続するエネルギー・原材料価格の高騰等により収益率に低下がみられるとともに、半導体関連の一部で需要の減少があった影響等により、電機・電子及び機械などで受注、生産に弱さがみられ、製造業全体では4期連続でマイナス水準となりました。

非製造業の業況は、建設業で受注が厳しい状況が続きマイナス水準となったものの、情報サービス業、卸売業、飲食業、宿泊業で1年前のコロナ禍の状況に比べて需要が増加したためプラス水準となり、非製造業全体では2期ぶりのプラス水準となりました。

2 製造業

(1) 業界の業況

前年同期（令和4年4月）と比較したD I（業況が「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた差）は $\Delta 29.9$ となり、前回調査時（令和5年1月）の $\Delta 27.9$ から2.0ポイント悪化しました。

3か月前（令和5年1月）と比較したD Iは $\Delta 17.4$ となり、前回調査時の $\Delta 39.2$ より21.8ポイント改善し、6期連続のマイナス水準となりました。

また、3か月後（令和5年7月）の予想では、D Iは $\Delta 8.5$ となり、5期連続のマイナス水準となりました。

〔主な業種の動き〕

ア 電機・電子では、パソコンは、法人向け需要の増加により、受注、生産が堅調に推移しています。プリンターは、在宅需要が牽引し、受注、生産が堅調に推移しています。半導体関連は、E V向けでは、受注、生産が好調に推移しているものの、スマートフォン、P C向けでは需要の減少により、受注、生産に弱さがみられます。抵抗器・コンデンサ等は、情報通信向け、産業用途、自動車関連向けで、国内外での需要の減退等に伴い、受注、生産が弱含んでいます。

イ 一般機械では、工作機械は、半導体関連製品の需要減速の影響等により、受注、生産に一服感がみられます。建設機械は、国内向け、海外向けともに受注が好調に推移しているものの、一部部材の供給制約により、生産に足踏みがみられます。

ウ 精密では、時計は、国内向けでは、インバウンドの回復等による需要の増加に伴い、販売量に持ち直しがみられる一方、海外向けでは、景気後退による需要の減少により、受注、生産ともに一服感がみられます。レンズは、映像関連向けや医療用向けなどで、需要の増加から、受注、生産が堅調に推移している一方、一部で部材の供給制約等により、生産に足踏みがみられます。圧力計は、半導体関連や建設機械関連向けを中心に、受注、生産が順調に推移しています。LPガスメーターは、ガス用I o T関連機器がけん引し、受注、生産が堅調に推移しています。

エ 自動車部品では、半導体の供給制約の緩和等により、新車販売台数が復調傾向にあることから、受注、生産に持ち直しがみられます。

オ 食料品では、味そは、季節的要因により、3か月前と比べ受注、生産が増加しています。酒類は、清酒やワインは、消費イベントの再開等により、受注、生産に持ち直しがみられます。飲料は、季節的要因やインバウンドの回復等により、受注、生産が増加しています。

(2)受注引合

前年同期比では、「増加」とする企業が21.9%と前回(23.6%)より減少し、「減少」とする企業が47.4%と前回(46.8%)よりやや増加した結果、DIは前回(△23.2)より悪化し、△25.5となりました。

3ヵ月前との比較では、「増加」とする企業が21.0%と前回(12.9%)より増加し、「減少」とする企業が29.7%と前回(45.7%)より減少した結果、DIは前回(△32.8)より大幅に改善し、△8.7となりました。

3ヵ月後の予想については、「増加」とする企業は15.6%、「減少」とする企業が24.6%となった結果、DIは△10.0となりました。

(3)生産量

前年同期比では、「増加」とする企業が22.1%と前回(27.4%)より減少し、「減少」とする企業が45.1%と前回(44.8%)よりやや増加した結果、DIは前回(△17.4)より悪化し、△23.0となりました。

3ヵ月前との比較では、「増加」とする企業が21.6%と前回(15.7%)より増加し、「減少」とする企業が33.0%と前回(41.3%)より減少した結果、DIは前回(△25.6)より改善し、△11.4となりました。

3ヵ月後の予想については、「増加」とする企業が20.7%、「減少」とする企業が23.4%となった結果、DIは△2.7となりました。

(4)製品販売価格

前年同期比では、「高い」とする企業が53.1%と前回(57.9%)より減少し、「安い」とする企業が7.5%と前回(4.3%)より増加した結果、DIは前回(53.6)より悪化し、45.6となりました。

3ヵ月前との比較では、「高い」とする企業が26.2%と前回(21.6%)より増加し、「安い」とする企業が4.8%と前回(3.4%)より増加した結果、DIは前回(18.2)より改善し、21.4となりました。

3ヵ月後の予想については、「高い」とする企業が21.8%、「安い」とする企業が5.8%となった結果、DIは16.0となりました。

(5)資金繰り

前年同期比では、「らく」とする企業が6.8%と前回(6.7%)とほぼ同じとなり、「苦しい」とする企業が21.5%と前回(21.5%)と同じとなった結果、DIは前回(△14.8)とほぼ同じ、△14.7となりました。

3ヵ月前との比較では、「らく」とする企業が6.8%と前回(4.5%)より増加し、「苦しい」とする企業が16.4%と前回(17.1%)よりやや減少した結果、DIは前回(△12.6)より改善し、△9.6となりました。

3ヵ月後の予想については、「らく」とする企業が4.6%、「苦しい」とする企業が19.4%となった結果、DIは△14.8となりました。

(6)収益率

前年同期比では、「上昇」とする企業が10.9%と前回(13.8%)より減少し、「低下」とする企業が55.5%と前回(56.0%)とほぼ同じとなった結果、DIは前回(△42.2)より悪化し、△44.6となりました。

3ヵ月前との比較では、「上昇」とする企業が10.9%と前回(6.9%)より増加し、「低下」とする企業が39.6%と前回(42.9%)より減少した結果、DIは前回(△36.0)より改善し、△28.7となりました。

3ヵ月後の予想については、「上昇」とする企業が7.1%、「低下」とする企業が31.1%となった結果、DIは△27.4となりました。

(7)製造業の業種別動向

電機・電子

(コンピュータ・情報機器) パソコンは、法人向け需要の増加により、受注、生産が堅調に推移しています。プリンターは、在宅需要が牽引し、受注、生産が堅調に推移しています。

(半導体関連・プリント基板) 半導体関連は、EV向けでは、受注、生産が好調に推移しているものの、スマートフォン、PC向けでは需要の減少により、受注、生産に弱さがみられます。

(抵抗器・コンデンサ等) 抵抗器・コンデンサ等は、情報通信向け、産業用途、自動車関連向けで、国内外での需要の減退等に伴い、受注、生産が弱含んでいます。

(モーター等) 産業用途向けは、中国での需要減少の影響等により、受注、生産に足踏みがみられます。航空機向けは、航空機需要の回復により、受注、生産に持ち直しがみられます。

(その他) 車載部品(カーナビゲーション、カーオーディオ)は、国内の新車販売の増加により、生産が堅調に推移しています。

一般機械

(工作機械) 工作機械は、半導体関連製品の需要減速の影響等により、受注、生産に一服感がみられます。

(金型) 産業用機械は、受注、生産が好調に推移している一方、自動車関連向けは、受注、生産に一服感がみられます。

(建設機械) 建設機械は、国内向け、海外向けともに受注が好調に推移しているものの、一部部材の供給制約により、生産に足踏みがみられます。

(農業用機械等) 農業用機械等は、国内向けで、値上げ前の駆け込み需要の反動があったことなどから、受注、生産は減少しています。

精 密

(時 計)

時計は、国内向けでは、インバウンドの回復等による需要の増加に伴い、販売量に持ち直しがみられる一方、海外向けでは、景気後退による需要の減少により、受注、生産ともに一服感がみられます。

(レ ン ズ)

レンズは、映像関連向けや医療用向けなどで、需要の増加から、受注、生産が堅調に推移している一方、一部で部材の供給制約等により、生産に足踏みがみられます。

(計 器)

圧力計は、半導体関連や建設機械関連向けを中心に、受注、生産が順調に推移しています。LPガスメーターは、ガス用IoT関連機器がけん引し、受注、生産が堅調に推移しています。

自動車部品

半導体の供給制約の緩和等により、新車販売台数が復調傾向にあることから、受注、生産に持ち直しがみられます。

食 料 品

(味 そ)

味そは、季節的要因により、3か月前と比べ受注、生産が増加しています。

(酒 類)

清酒やワインは、消費イベントの再開等により、受注、生産に持ち直しがみられます。

(飲 料)

季節的要因やインバウンドの回復等により、受注、生産が増加しています。

繊維・衣服

季節的要因により、受注、生産が増加しています。

紙 ・ パルプ

ダンボールは、季節的要因により、農産物向けで受注、生産が増加しています。

印 刷

印刷・製本は、季節的要因により、受注、生産が増加しているものの、印刷・製本の需要の低迷などにより、引き続き低調に推移しています。

そ の 他

プラスチック成型部品は、産業用機械向けで、受注、生産が堅調に推移しています。

3 非製造業

業界の業況

前年同期(令和4年4月)と比較したD Iは12.7となり、前回調査時(令和5年1月)の△6.4より19.1ポイント改善し、2期ぶりのプラス水準となりました。

3か月前(令和5年1月)と比較したD Iは16.3となり、前回調査時の△34.5より50.8ポイントと大幅に改善しました。

また、3か月後(令和5年7月)の予想では、D Iは△5.1となりました。

〔主な業種の動き〕

ア 建設業

建設業では、民間工事を中心に厳しい受注競争が続いたほか、資材価格の上昇や技術者など人手不足の影響により、前回調査に比べ受注件数D I、売上高D Iが悪化したことから、業況D Iは△33.4と前回(△20.7)より悪化しました。

3か月後の業況D Iは、△25.8です。

イ 情報サービス業

情報サービス業では、公共関連、民間企業ともに需要が増加し、受注件数や販売価格が前年を上回ったことから、売上高D I、収益率D Iが改善し、業況D Iは55.6と前回(20.0)より大幅に改善しました。

3か月後の業況D Iは、△12.5です。

ウ 小売業

小売業では、新型コロナによる行動制限が無くなり、客数D Iが改善したほか、販売価格の上昇など価格転嫁が進んだことで、売上高D I、収益率D Iが改善したことから、業況D Iは0.0と前回(△26.6)より改善しました。

3か月後の業況D Iは、△8.9です。

エ 卸売業

卸売業では、前期に落ち込んだ客数が改善したほか、販売価格も前年を上回る企業が多くなり、客数(取引先数)D I、収益率D Iが改善し、業況D Iは23.6と前回(16.7)より改善しました。

3か月後の業況D Iは、0.0です。

オ 飲食業

飲食業では、観光客などの需要増加により、客数D Iが5期連続でプラス水準を維持したほか、値上げなどに伴う販売価格の上昇で売上高D Iも改善したことから、業況D Iは69.3と前回(27.3)より大幅に改善しました。

3か月後の業況D Iは、24.0です。

カ 宿泊業

宿泊業では、人手不足等の影響により、前回調査に比べ客数D I、売上高D Iが悪化したものの、インバウンド等の増加により販売価格D Iは高水準が続いたことから、業況D Iは62.5と前回(68.8)よりやや悪化しました。

3か月後の業況D Iは、14.3です。

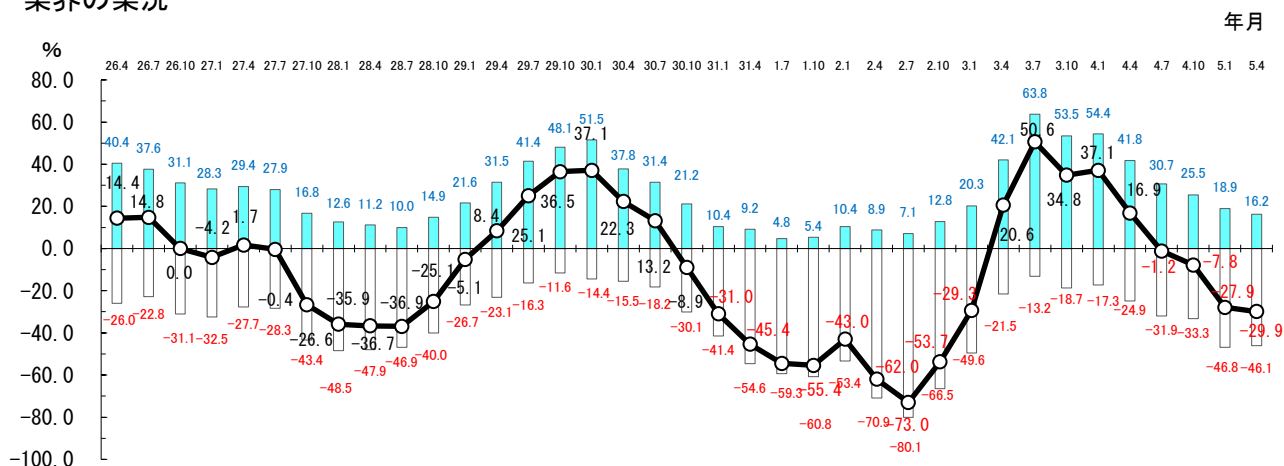
景気動向調査集計結果

(注) 棒グラフのプラス側は好転（増加、上昇）の企業の割合、マイナス側は悪化（減少、低下）の企業の割合です。
折れ線グラフ（D I）は好転（増加、上昇）の企業の割合から悪化（減少、低下）の企業の割合を引いた差です。

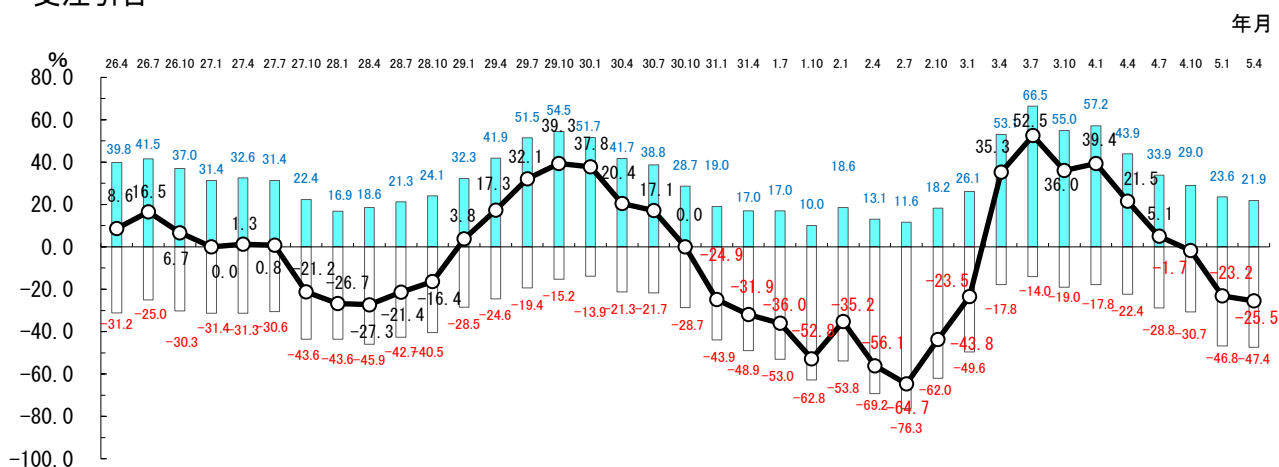
1 製造業

(1) 前年同期に比べて

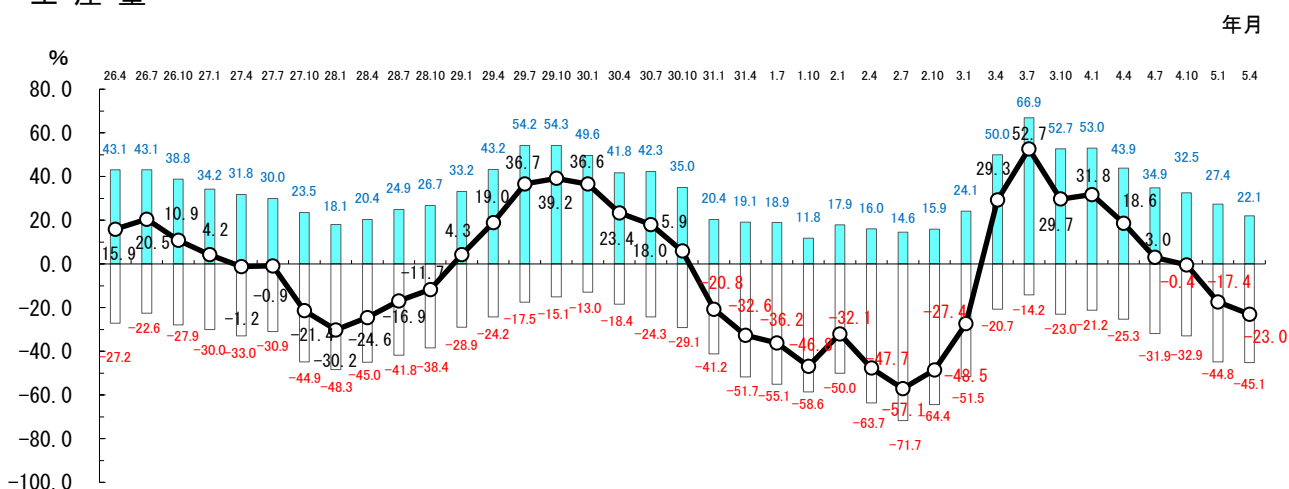
業界の業況



受注引合

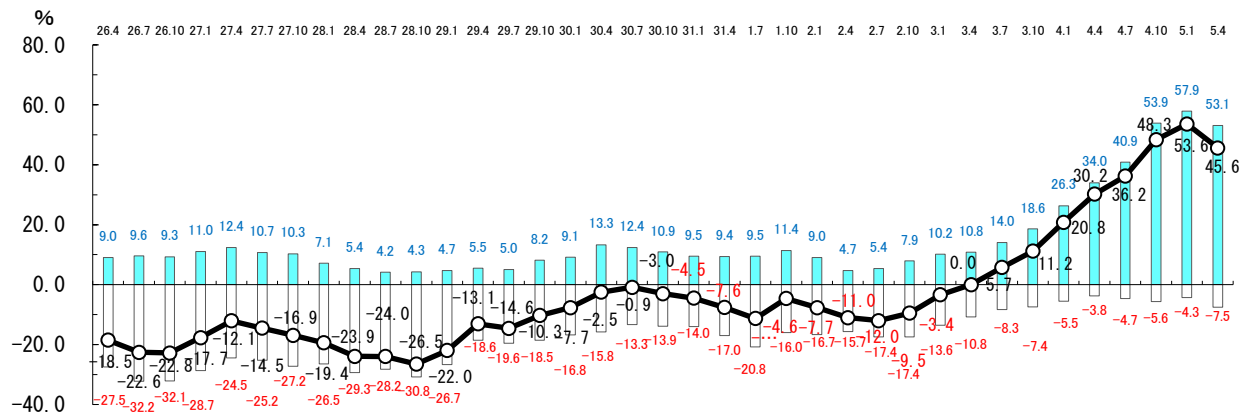


生産量



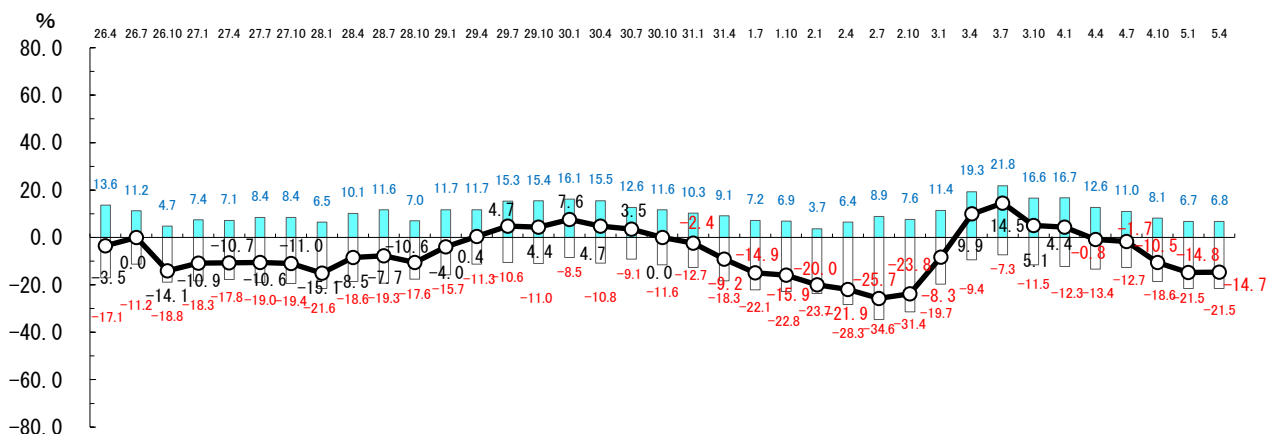
製品販売価格

年月



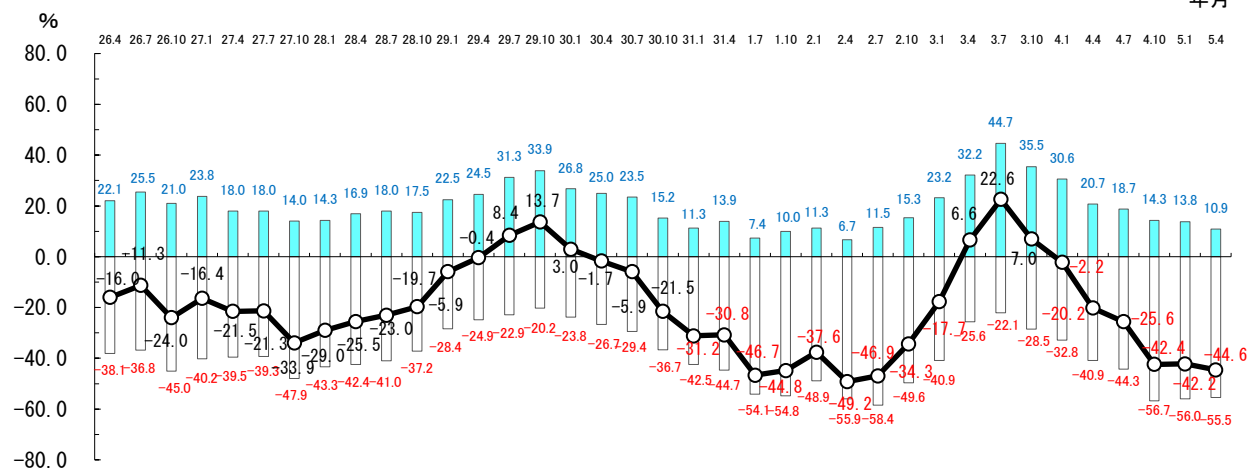
資金繰り

年月



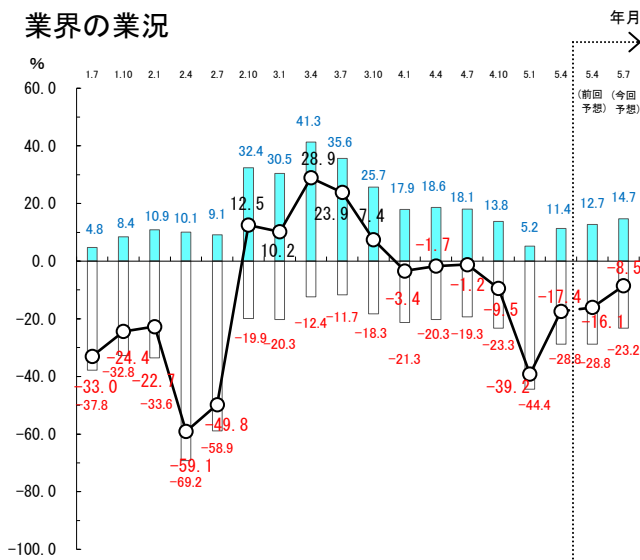
収益率

年月

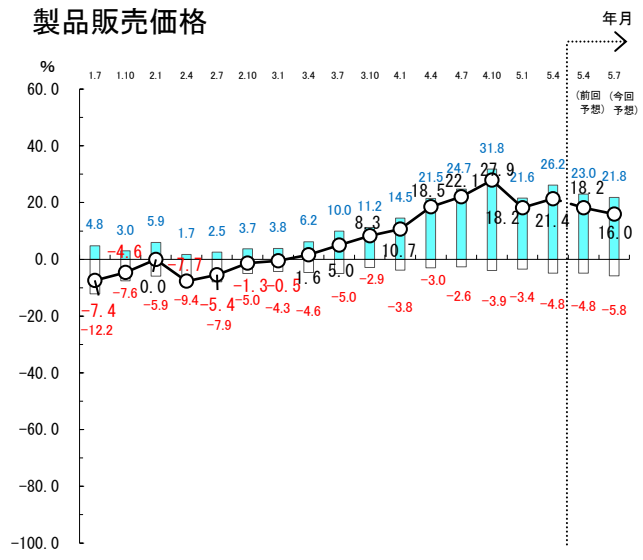


(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

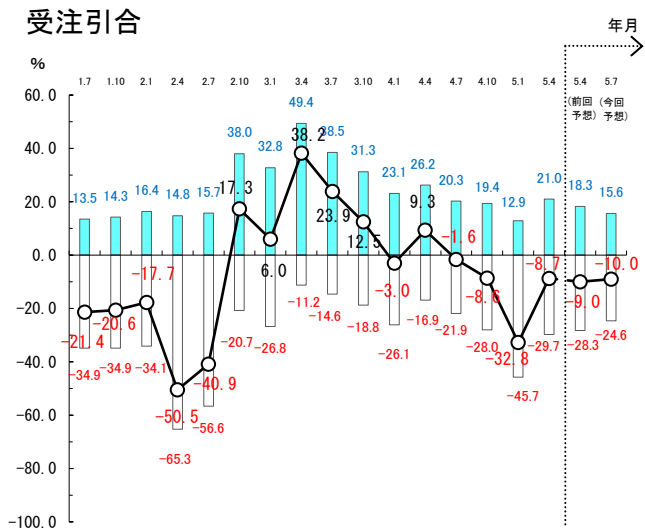
業界の業況



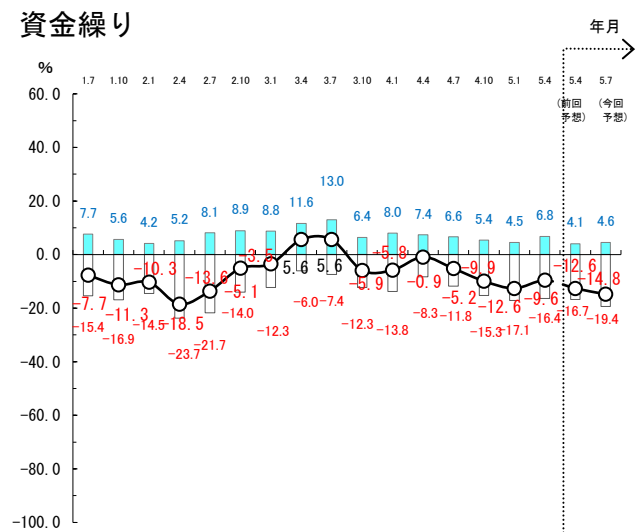
製品販売価格



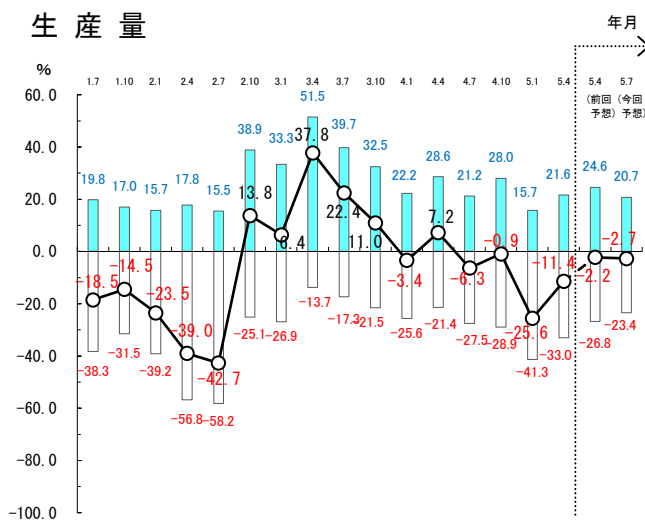
受注引合



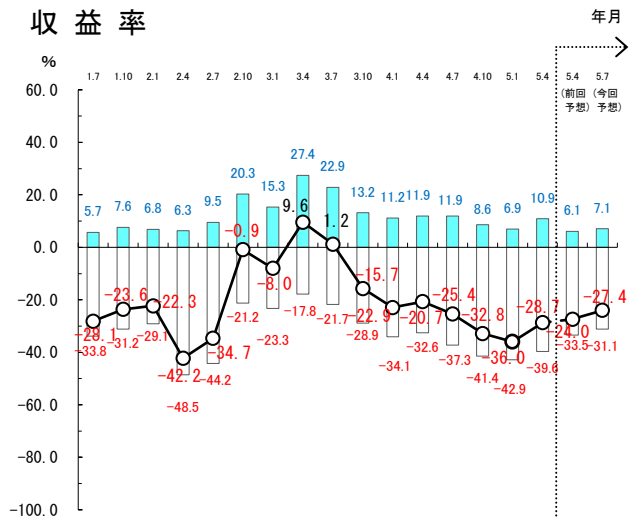
資金繰り



生産量



収益率

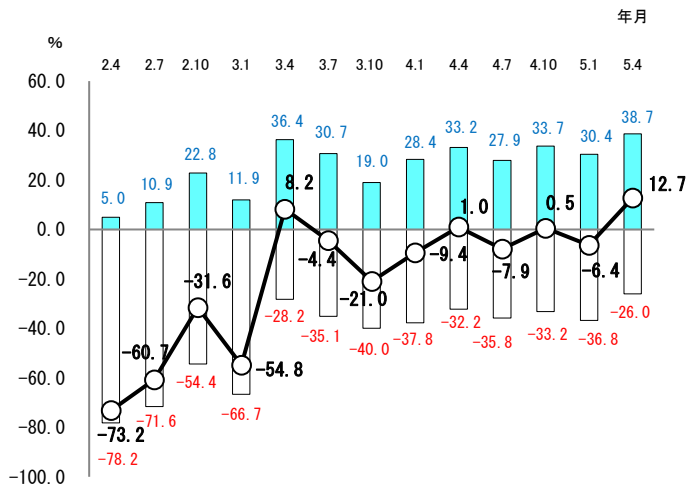


2 非製造業

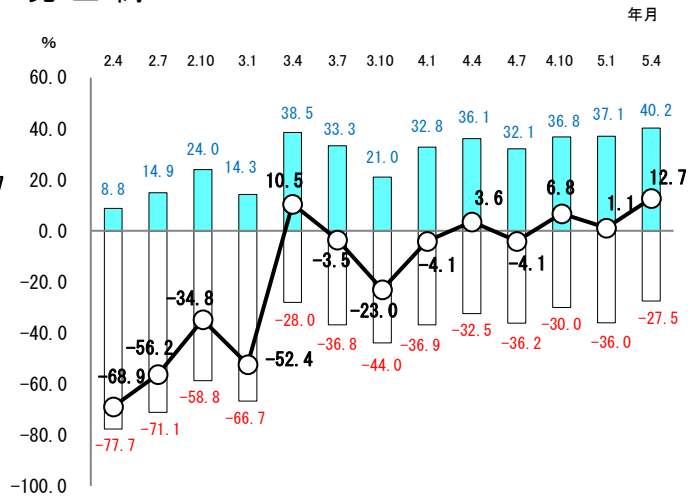
(1) 前年同期に比べて

非製造業全体

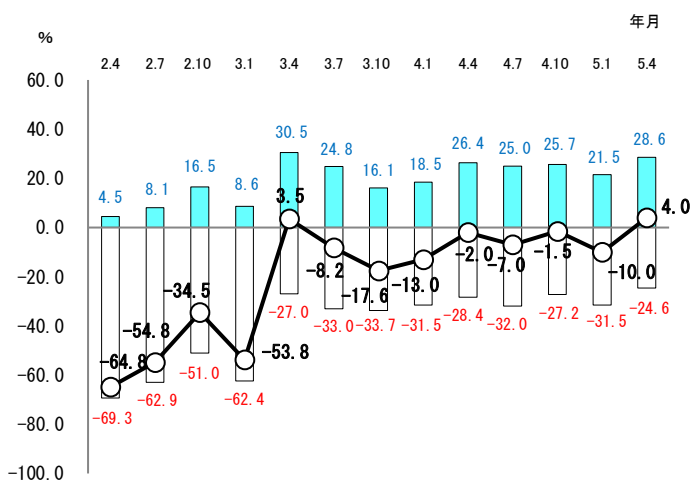
業況



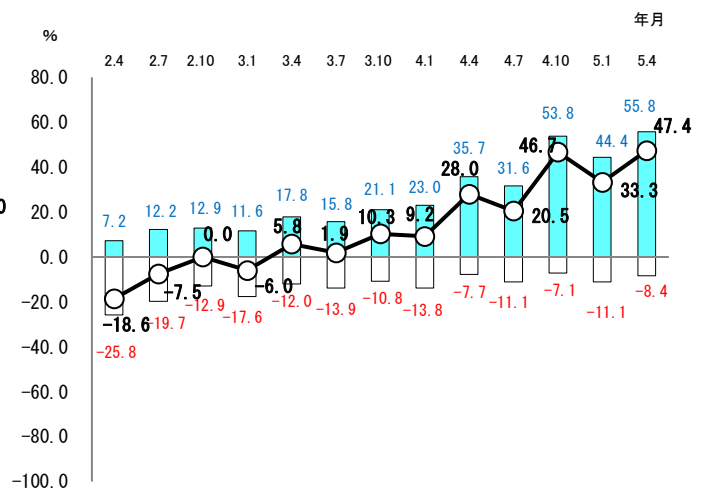
売上高



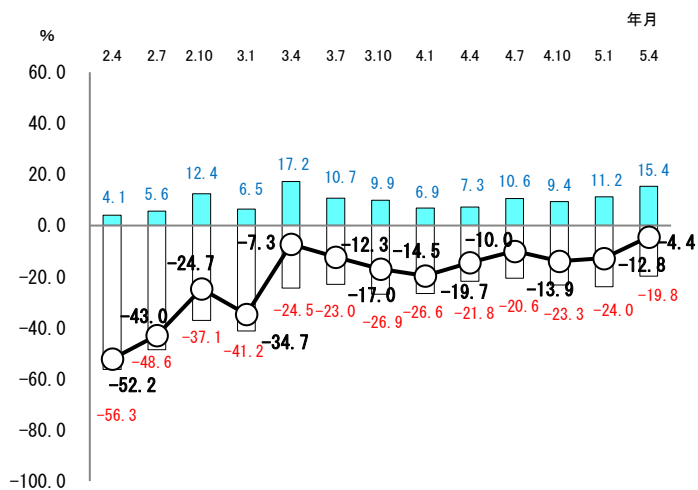
客数 (受注件数・取引先数)



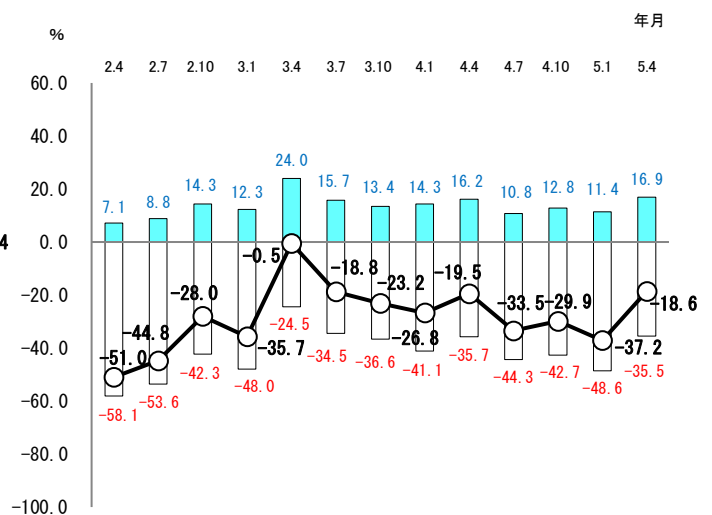
販売価格



資金繰り

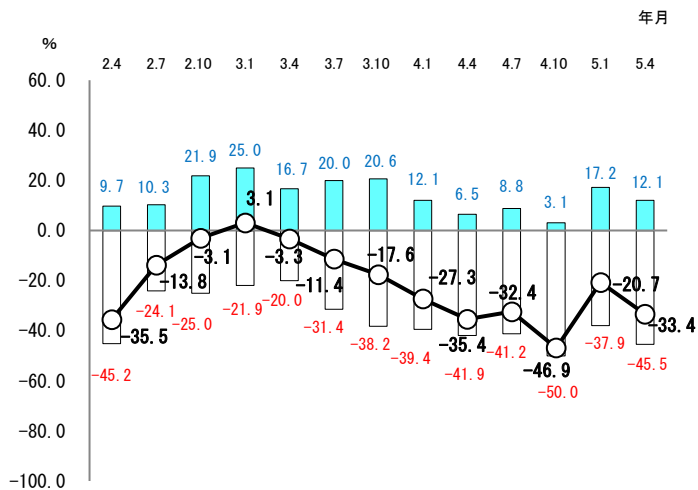


収益率

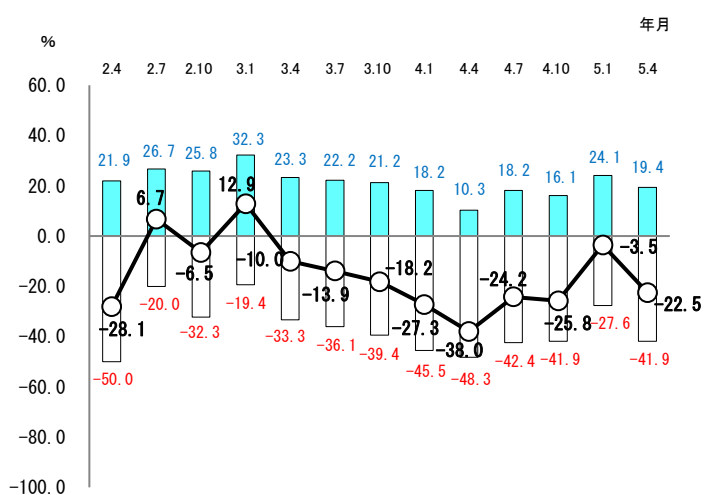


ア 建設業

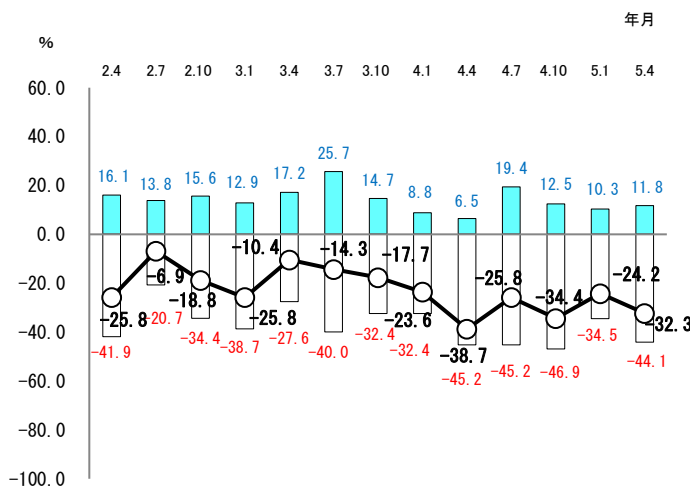
業況



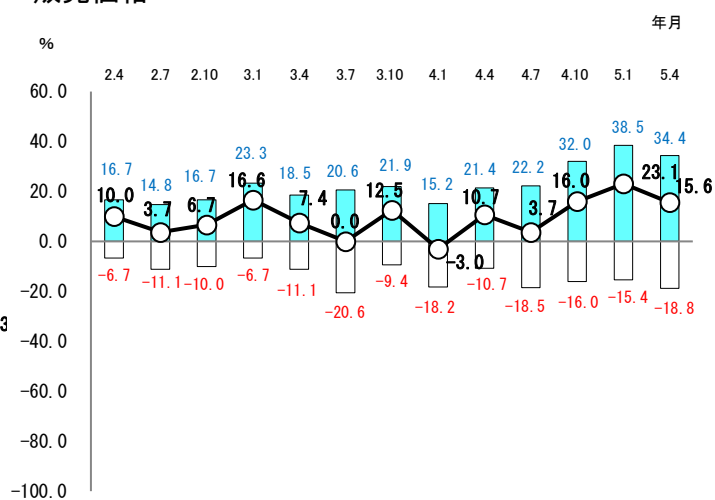
売上高



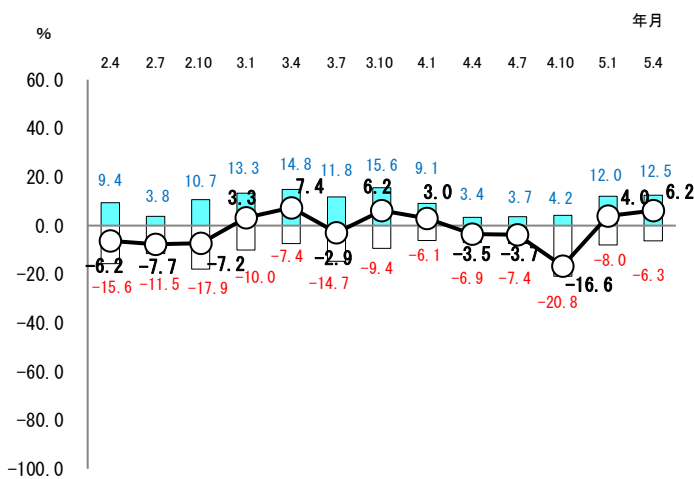
客数 (受注件数)



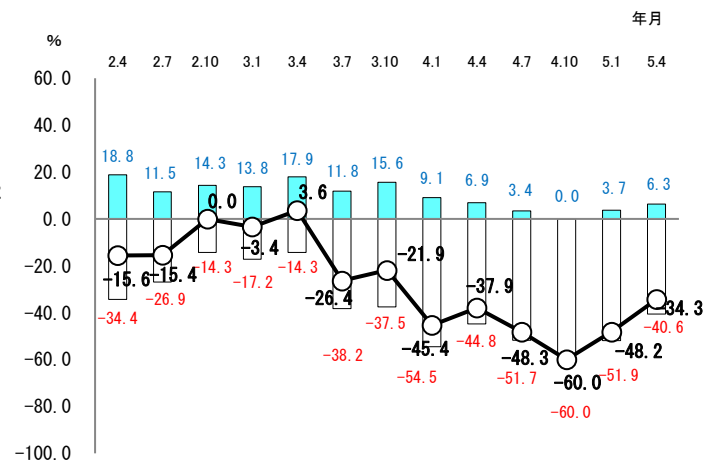
販売価格



資金繰り

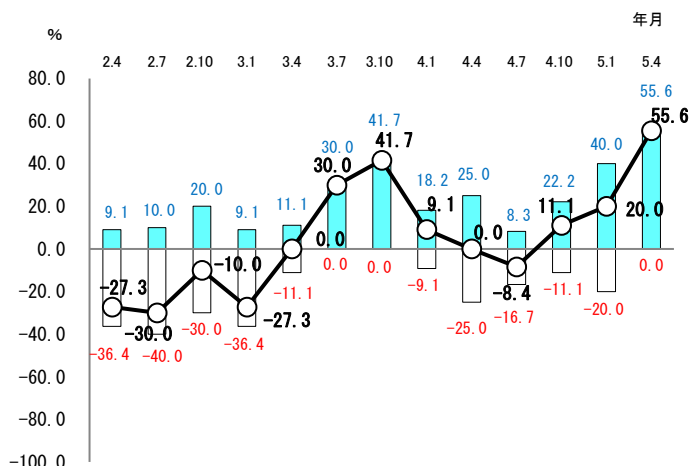


収益率

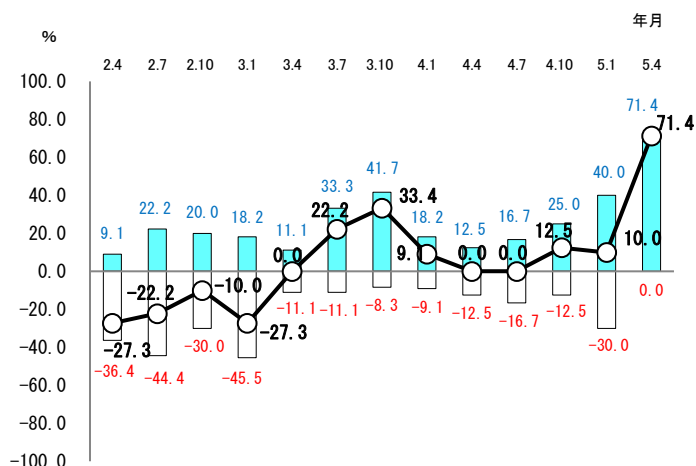


イ 情報サービス業

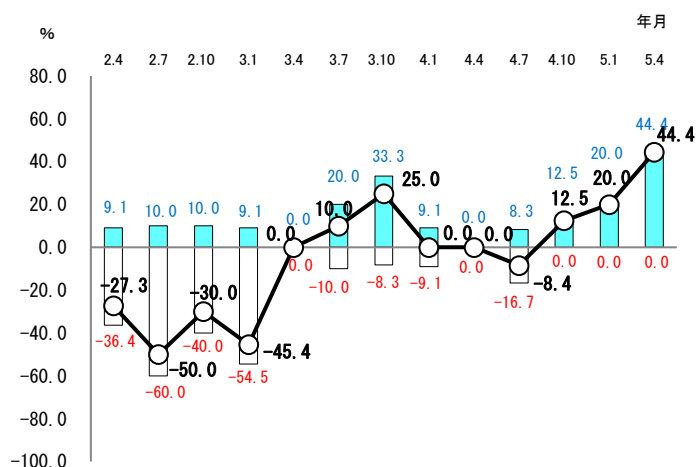
業況



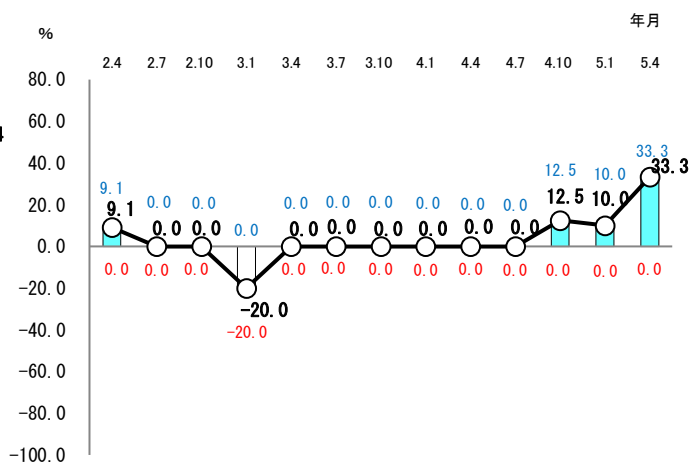
売上高



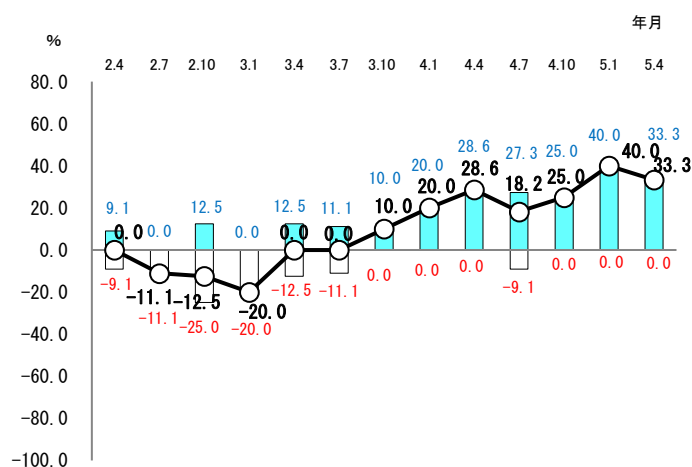
客数 (受注件数)



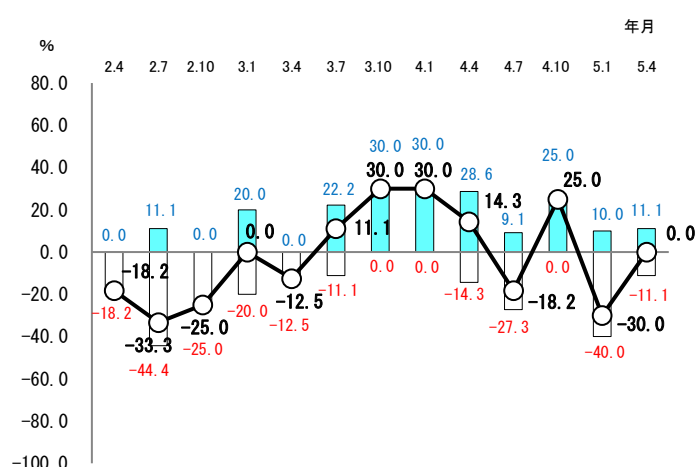
販売価格



資金繰り

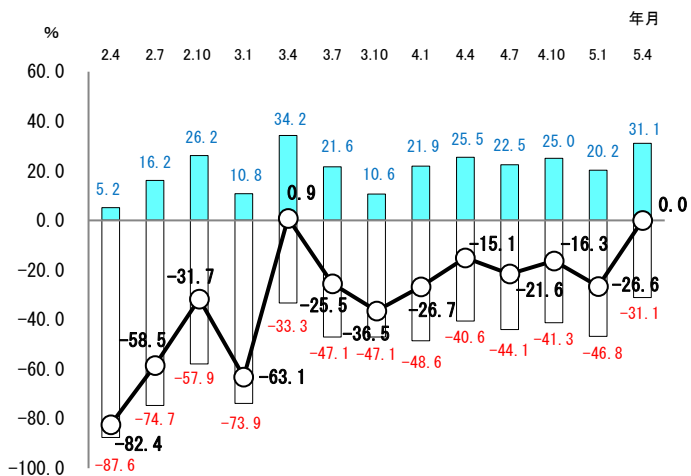


収益率

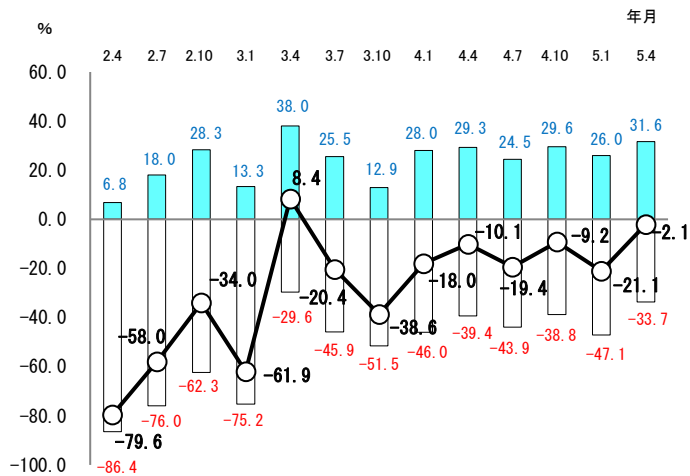


ウ 小売業

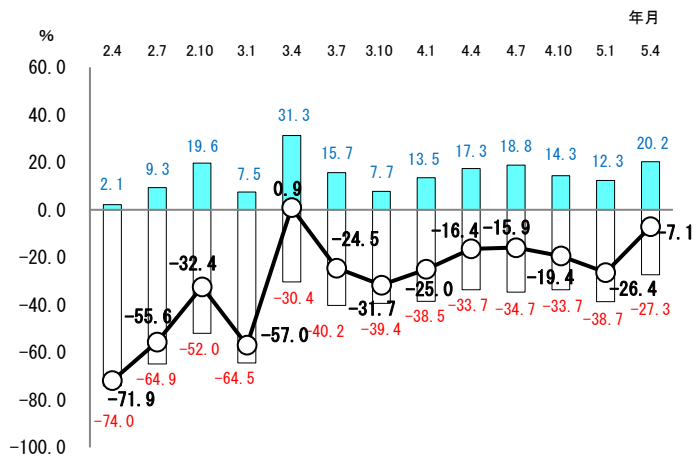
業況



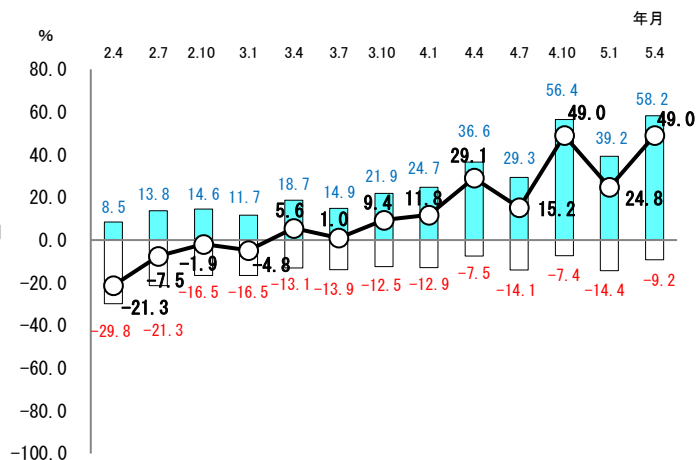
売上高



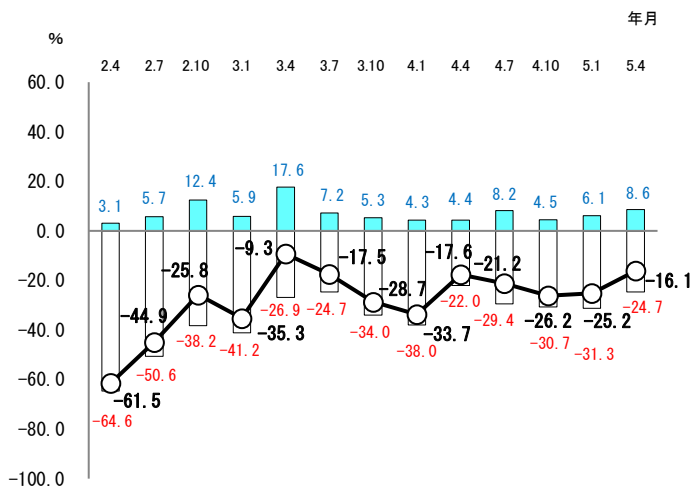
客数



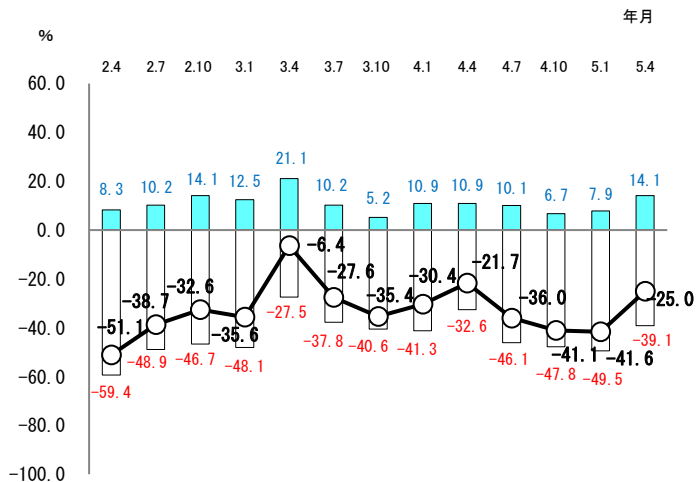
販売価格



資金繰り

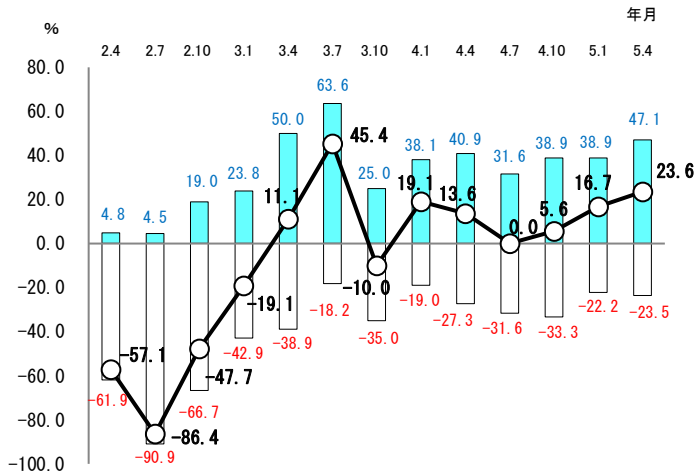


収益率

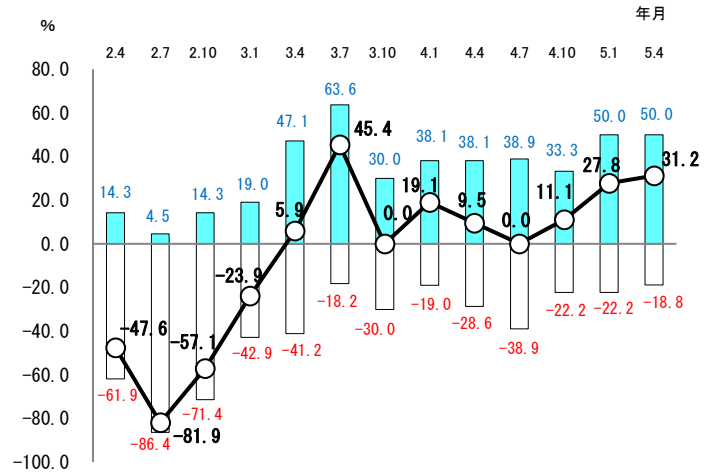


工 卸売業

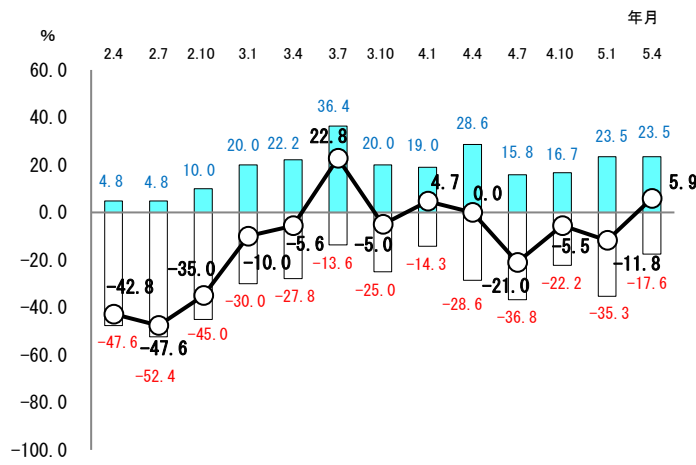
業況



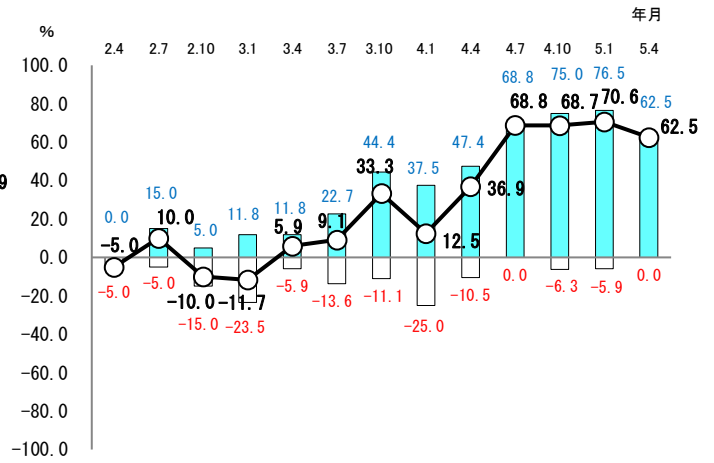
売上高



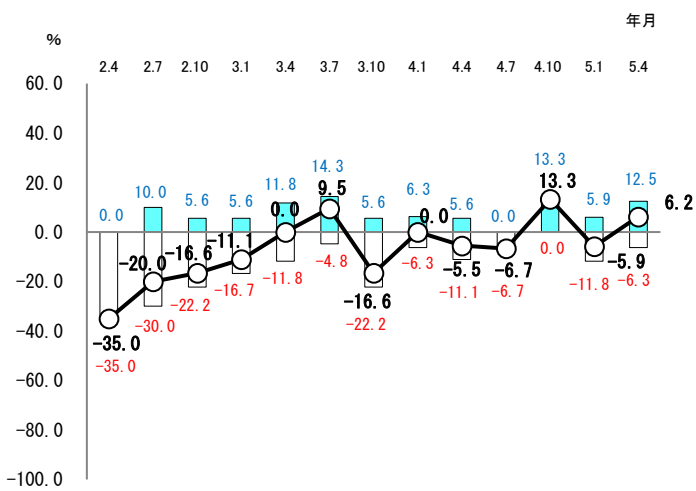
客数 (取引先数)



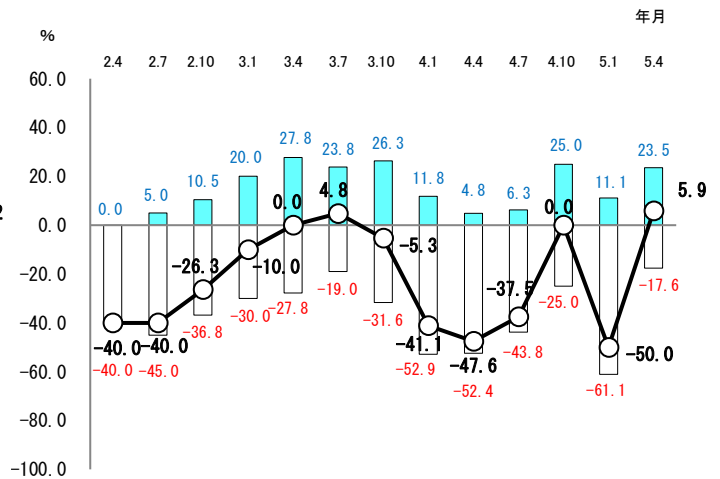
販売価格



資金繰り

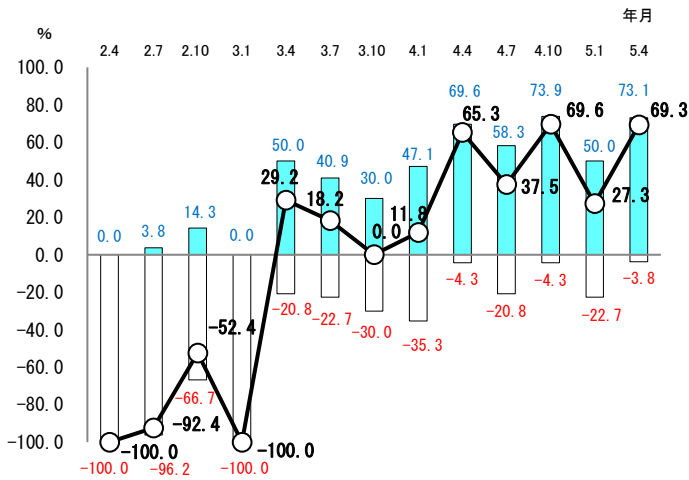


収益率

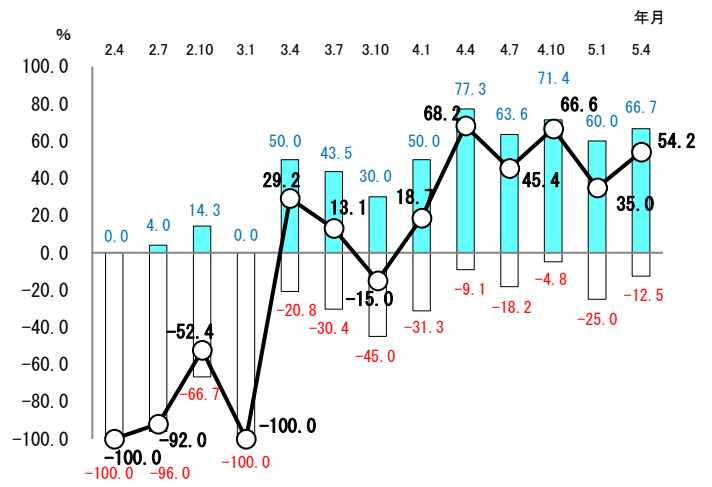


才 飲食業

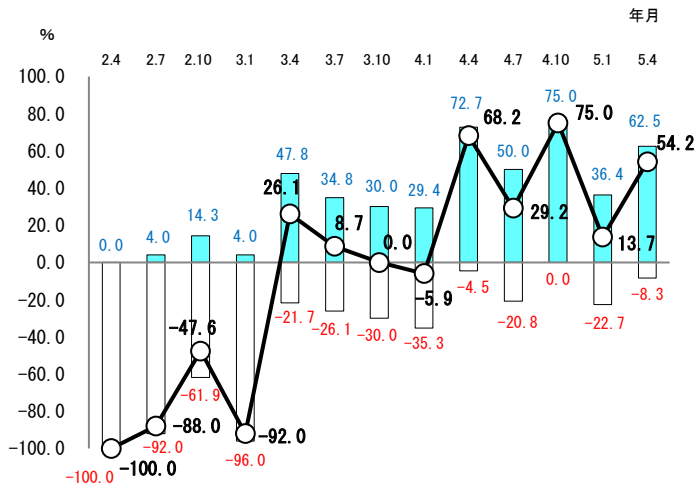
業況



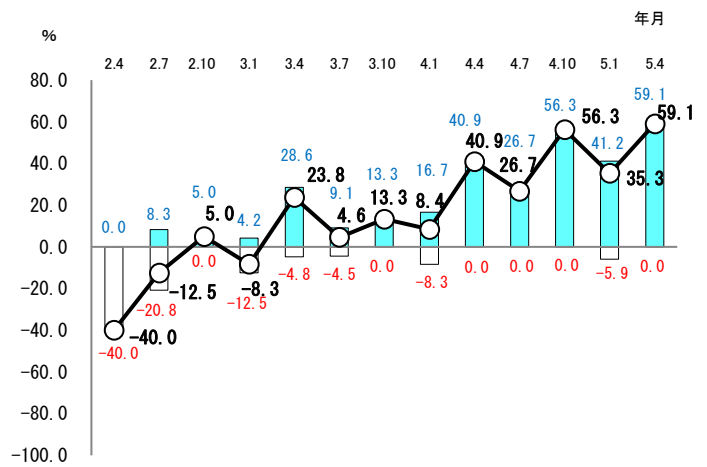
売上高



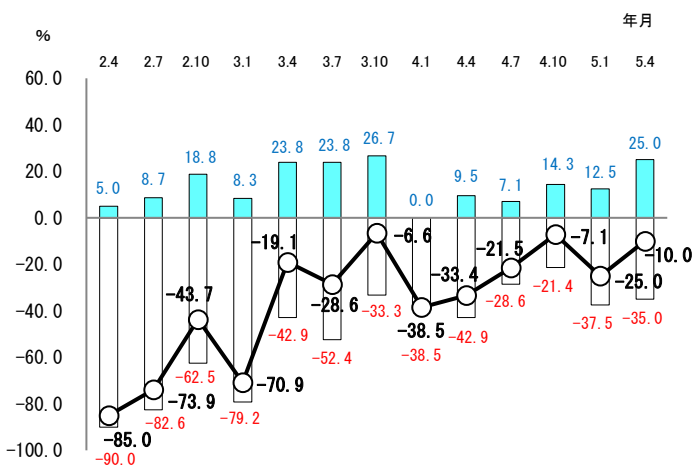
客数



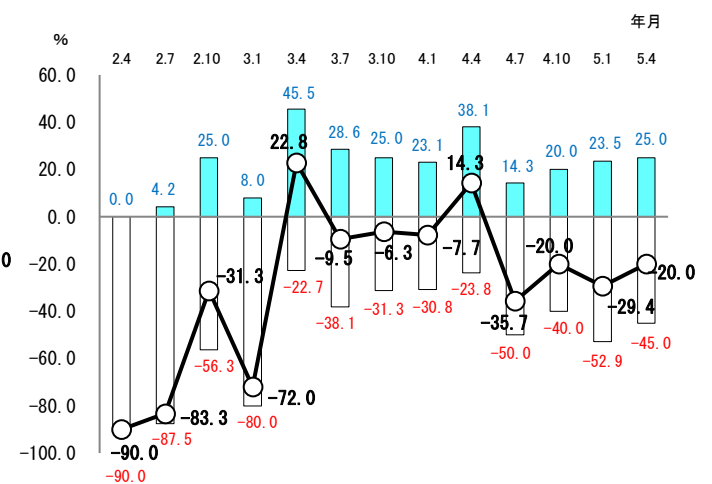
販売価格



資金繰り

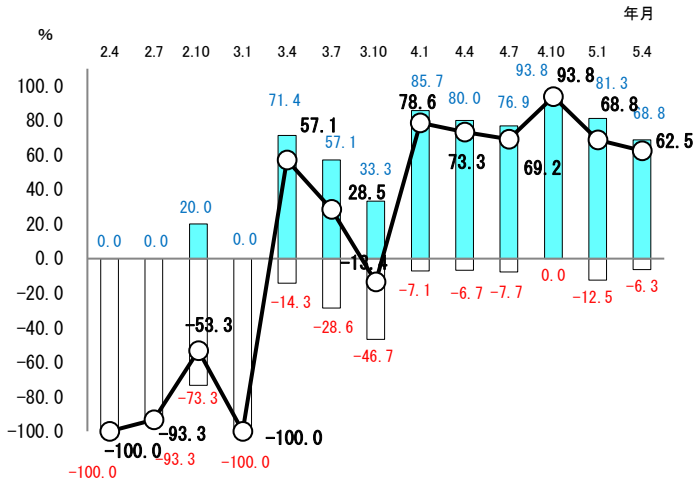


収益率

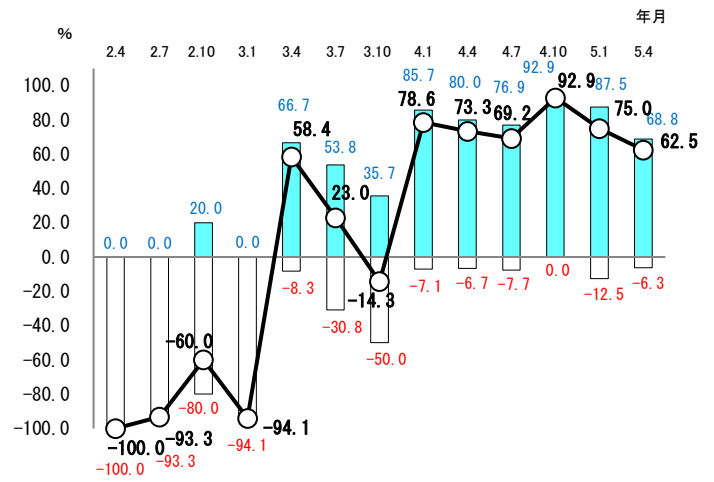


力 宿泊業

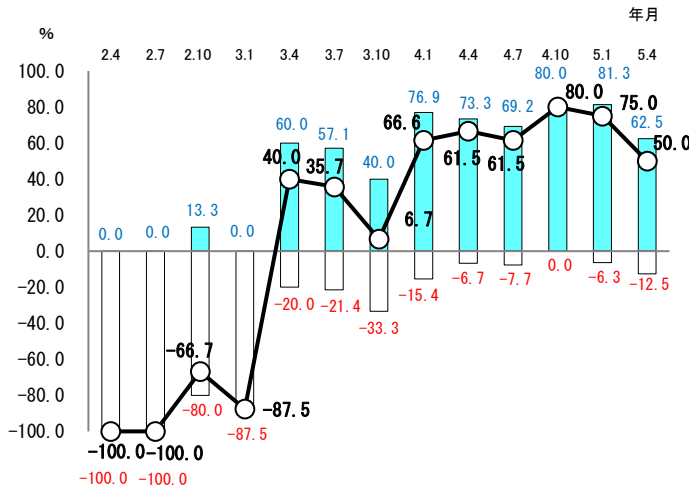
業況



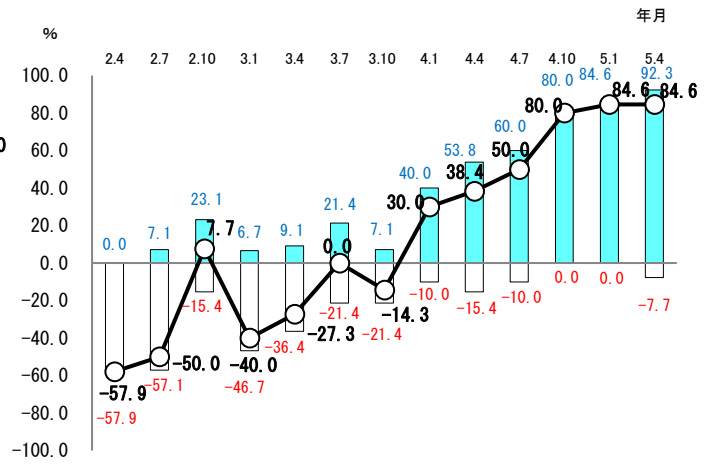
売上高



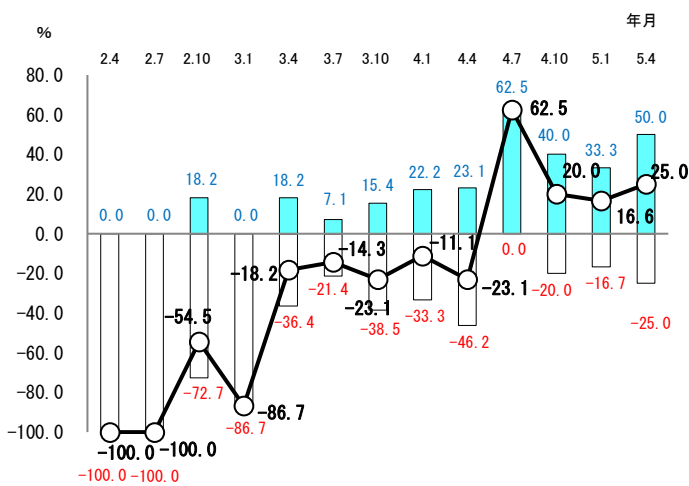
客数



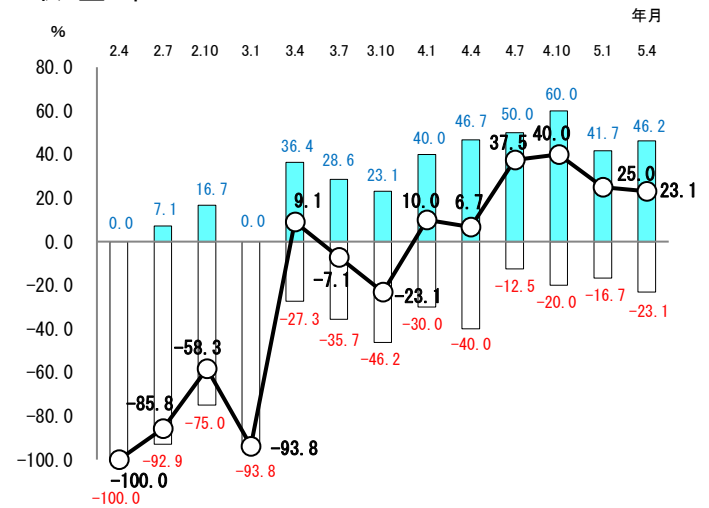
販売価格



資金繰り

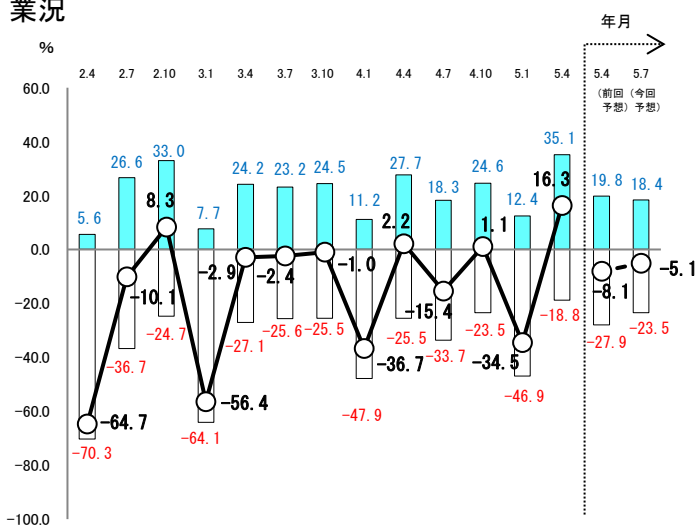


収益率

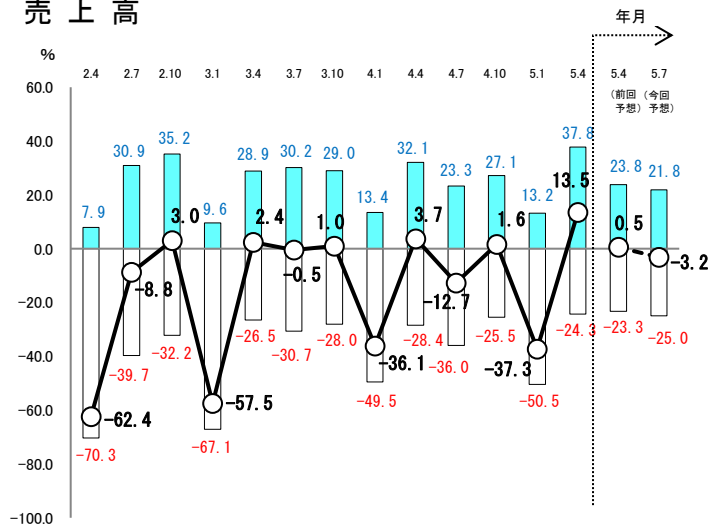


(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想
非製造業全体

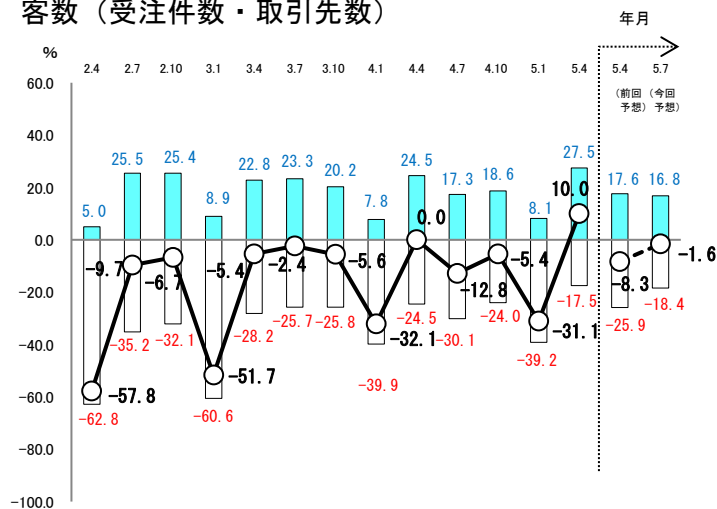
業況



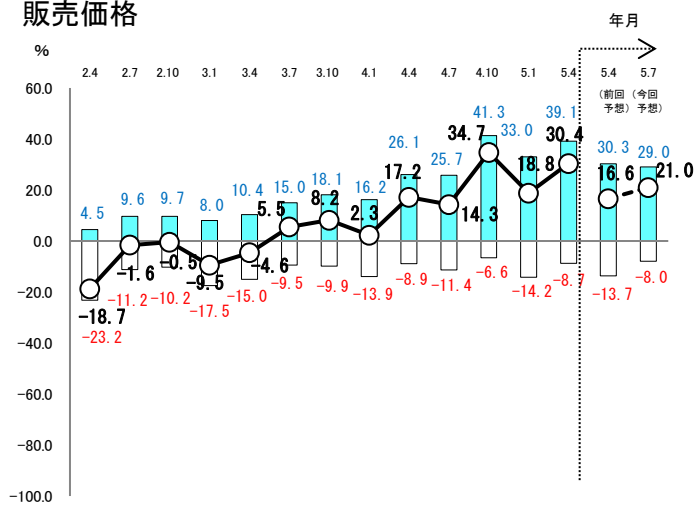
売上高



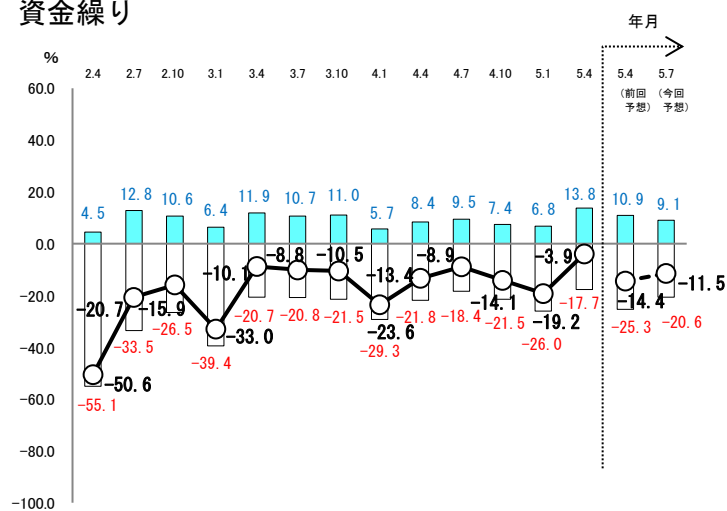
客数 (受注件数・取引先数)



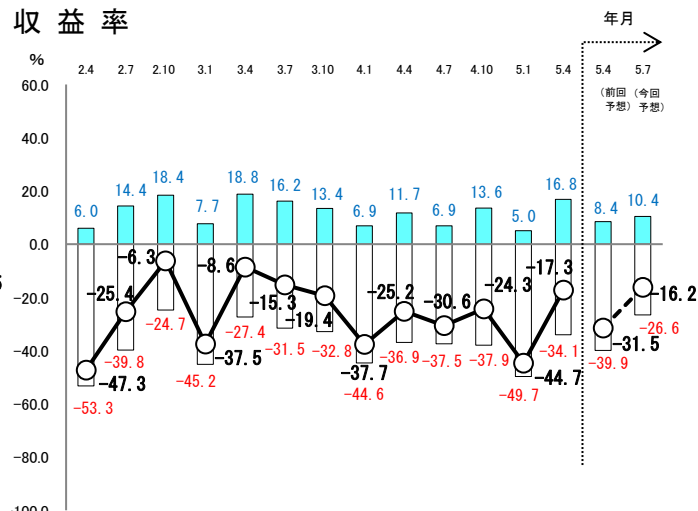
販売価格



資金繰り

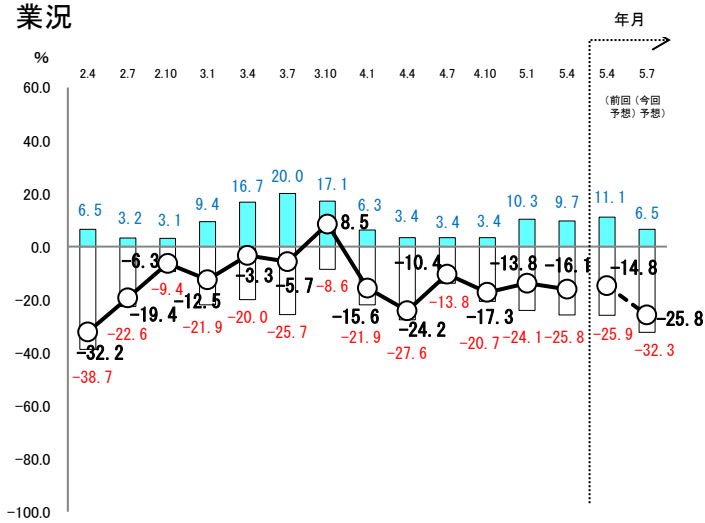


収益率

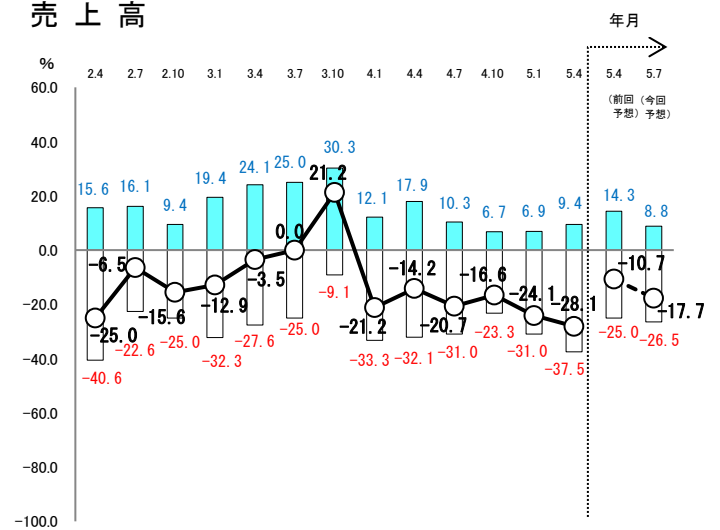


ア 建設業

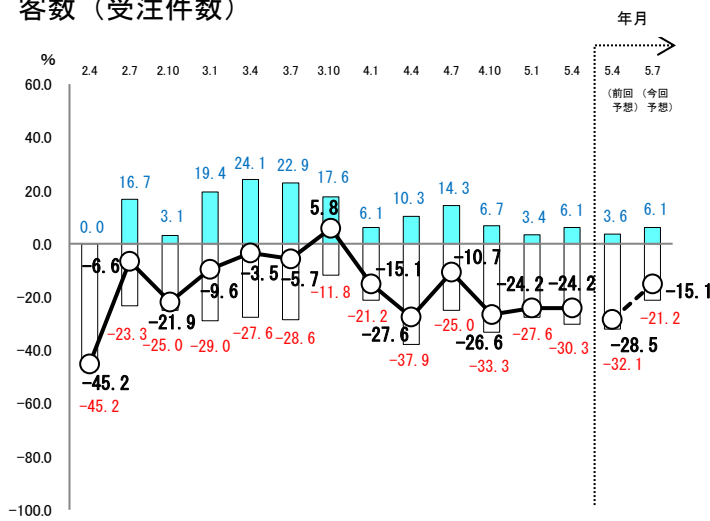
業況



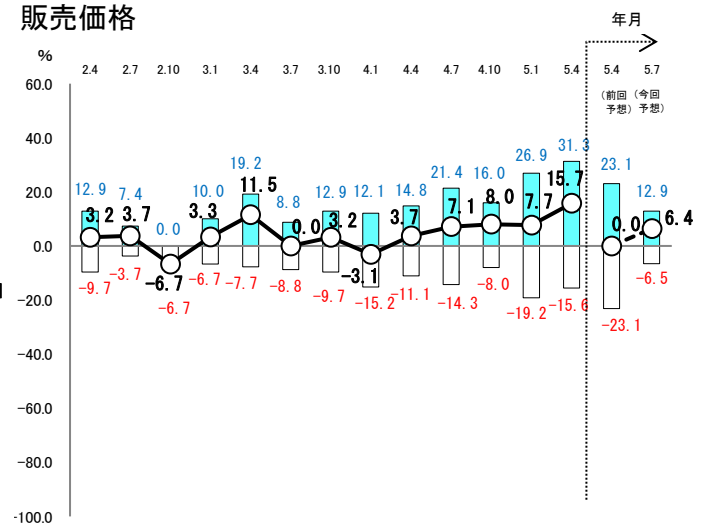
売上高



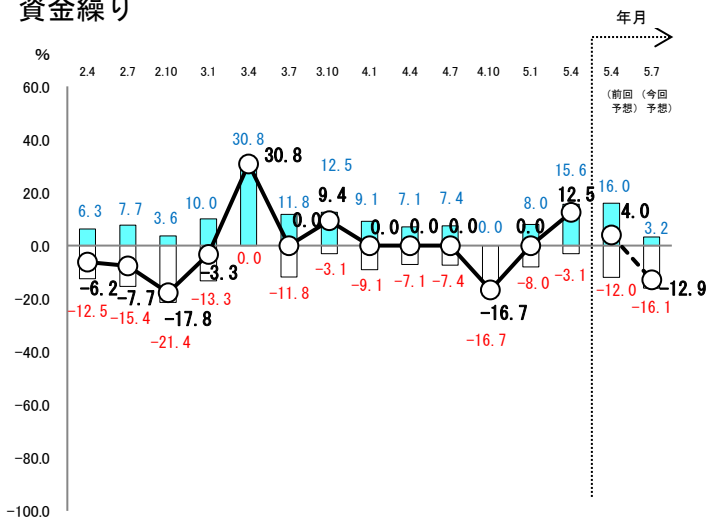
客数 (受注件数)



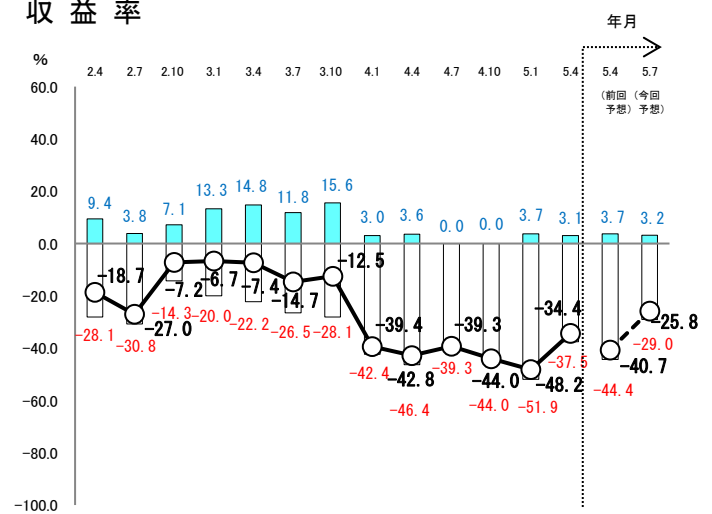
販売価格



資金繰り

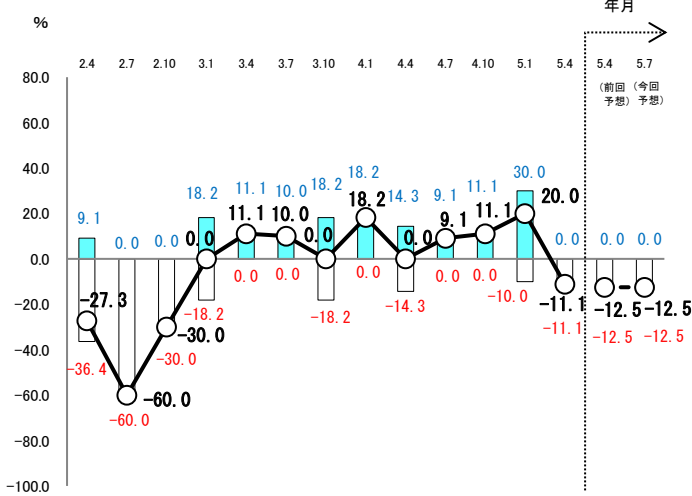


収益率

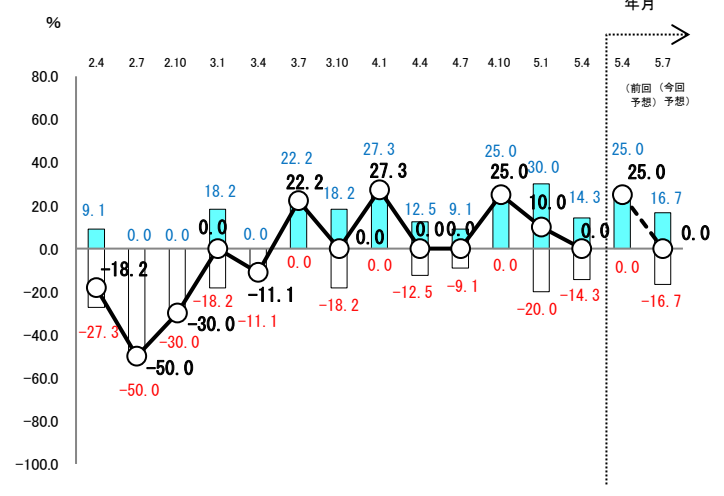


イ 情報サービス業

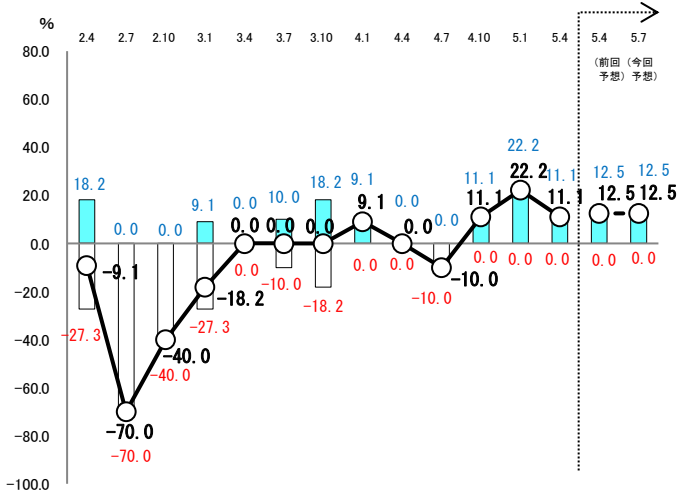
業況



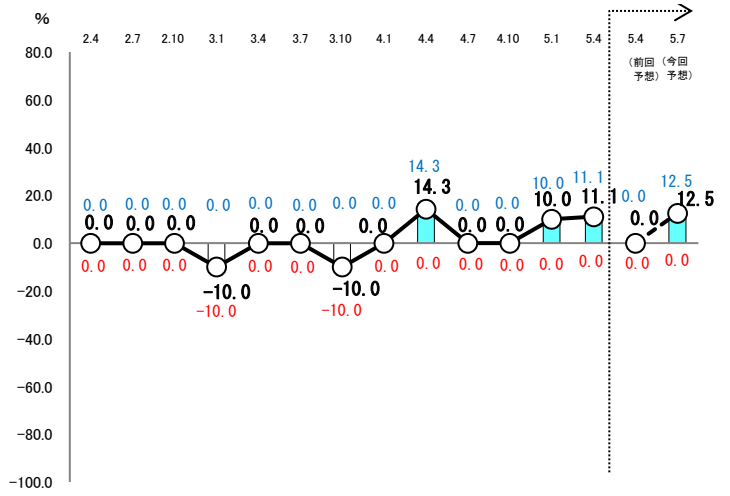
売上高



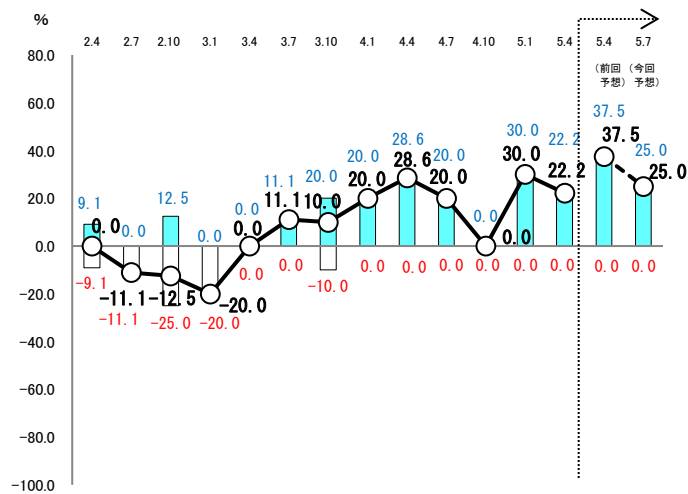
客数 (受注件数)



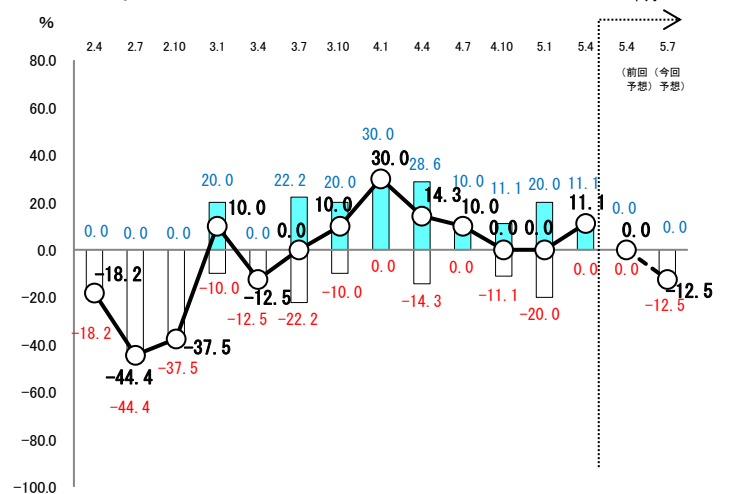
販売価格



資金繰り

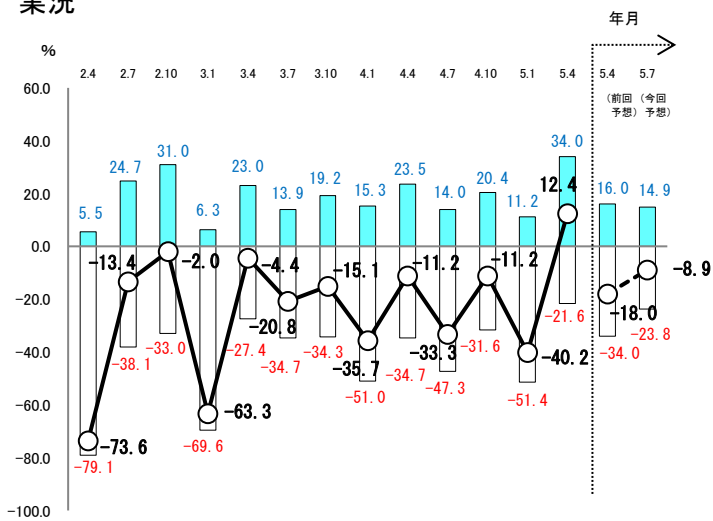


収益率

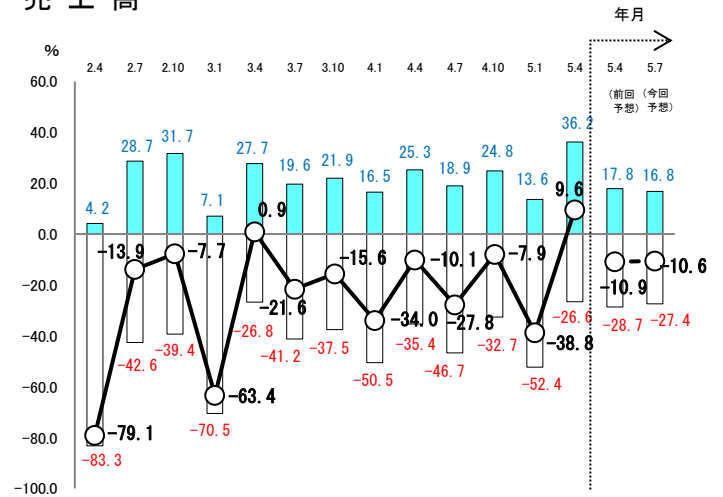


ウ 小売業

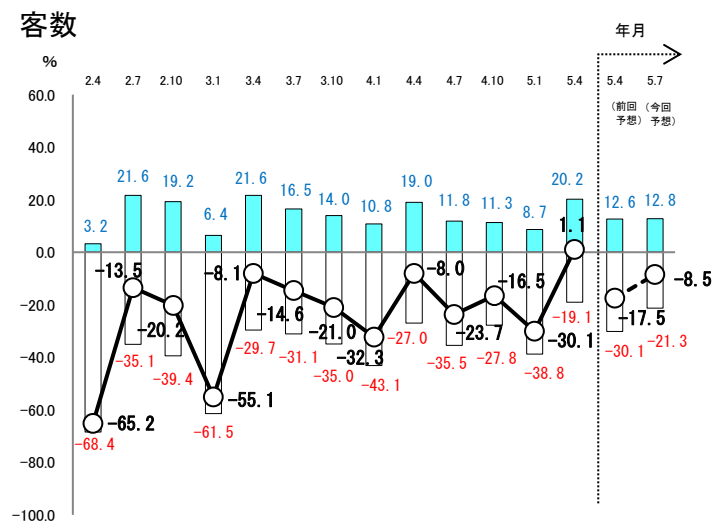
業況



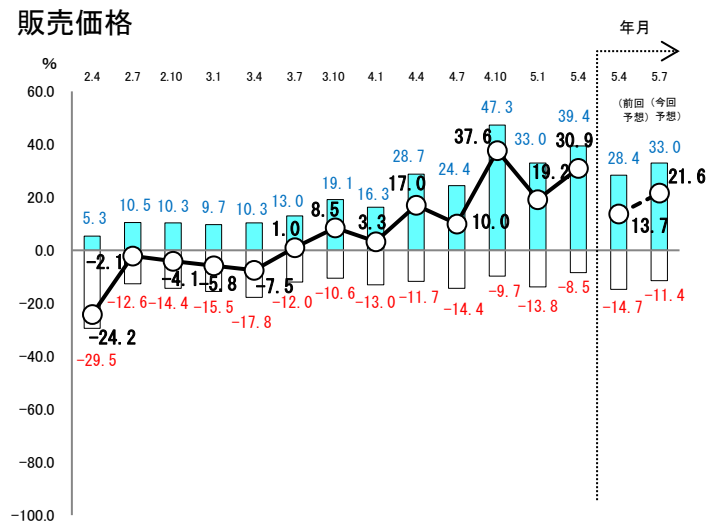
売上高



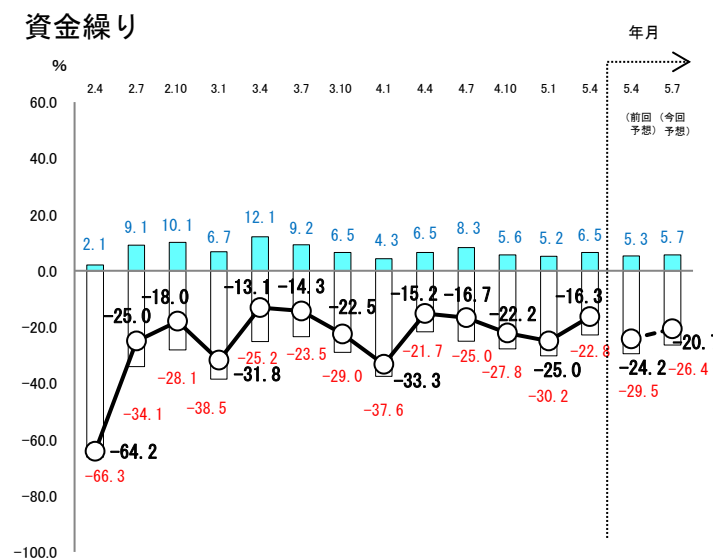
客数



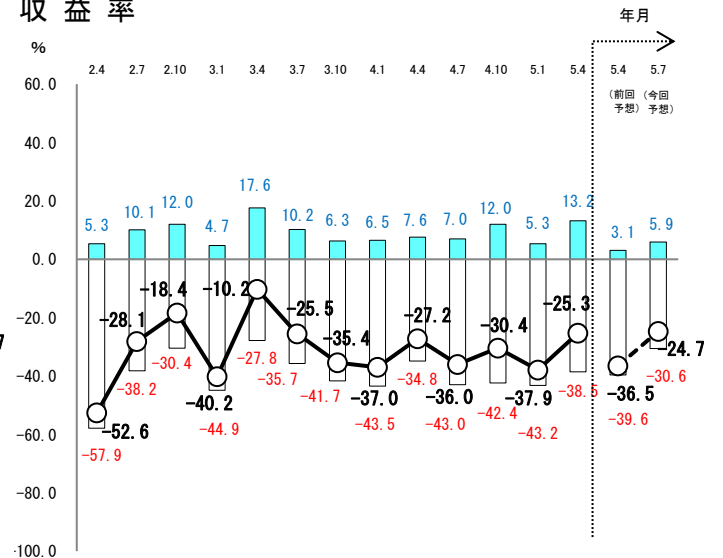
販売価格



資金繰り

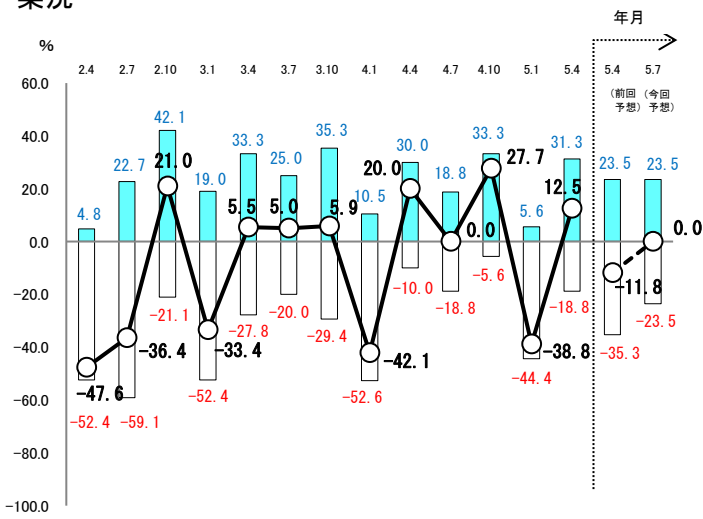


収益率

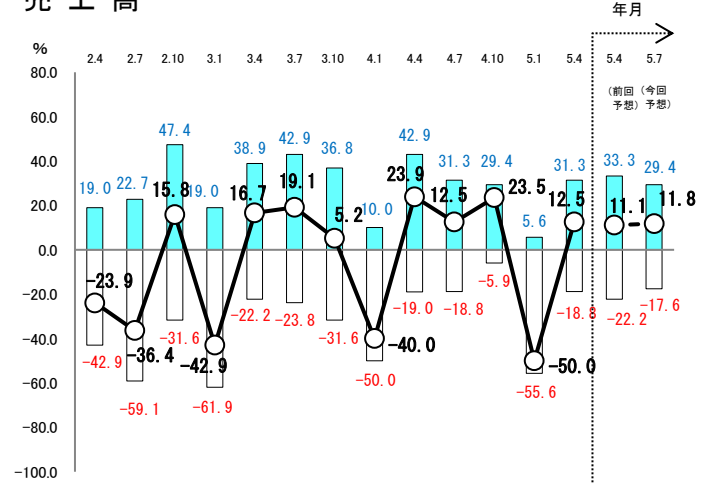


工 卸売業

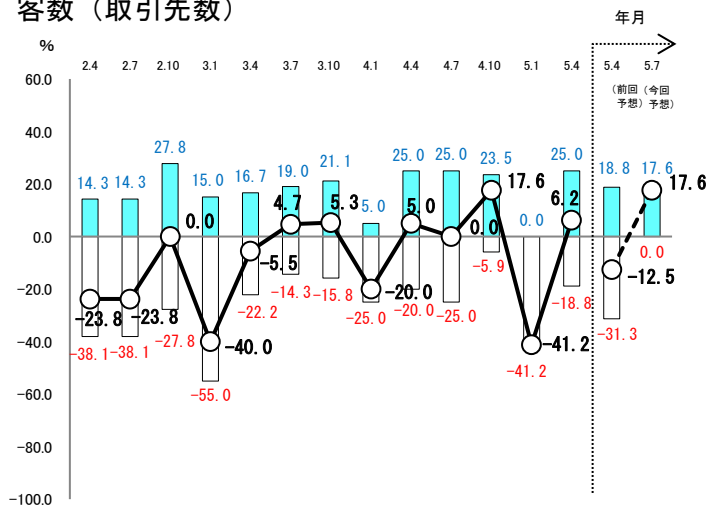
業況



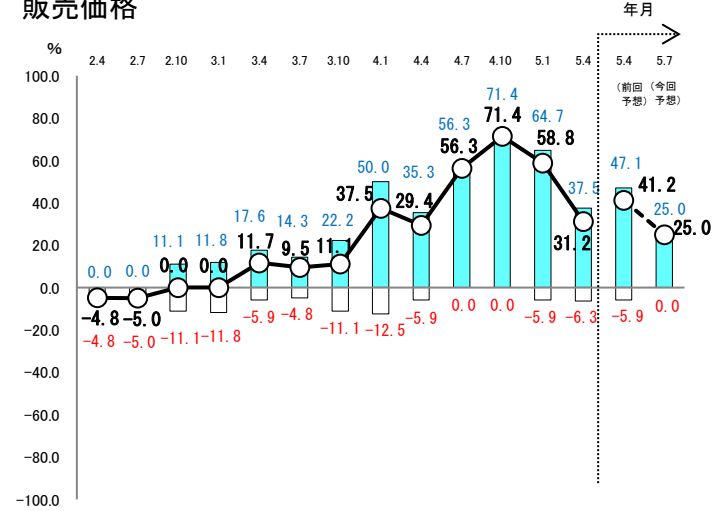
売上高



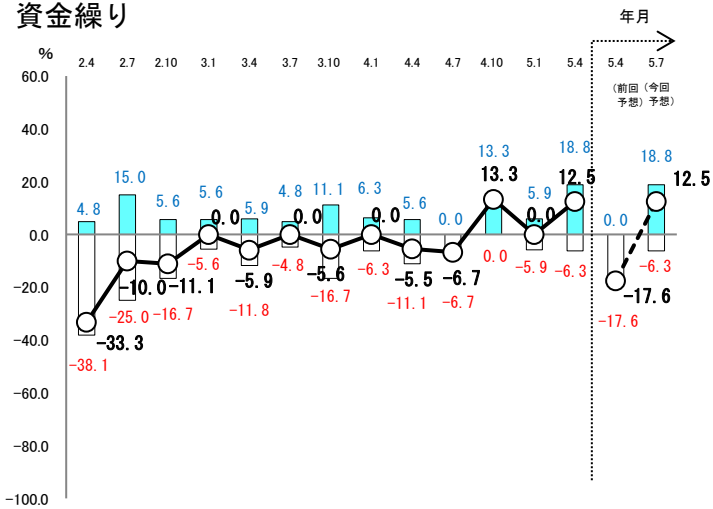
客数 (取引先数)



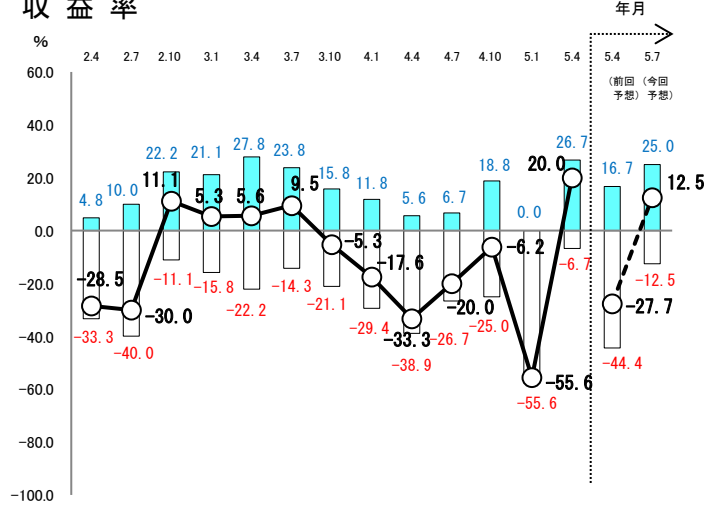
販売価格



資金繰り

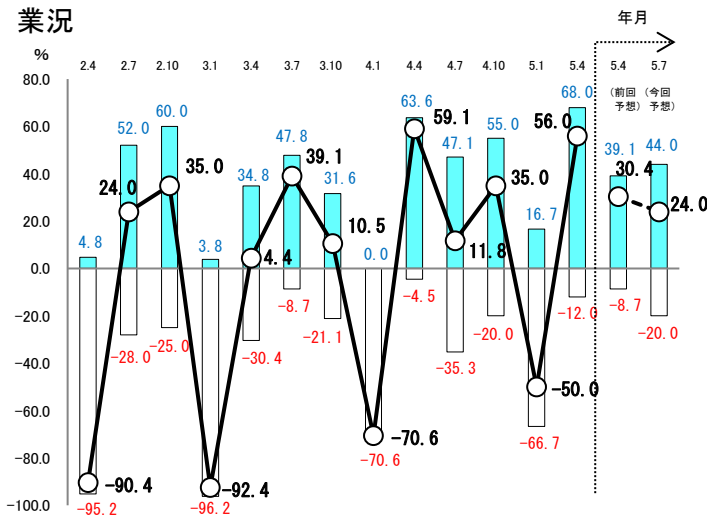


収益率

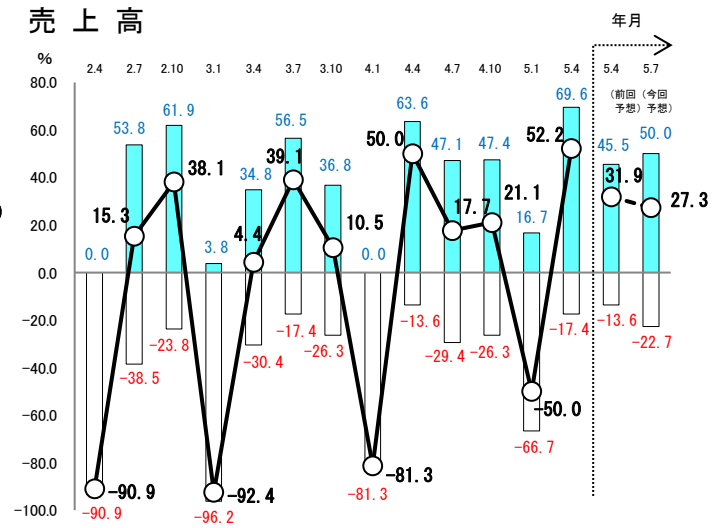


才 飲食業

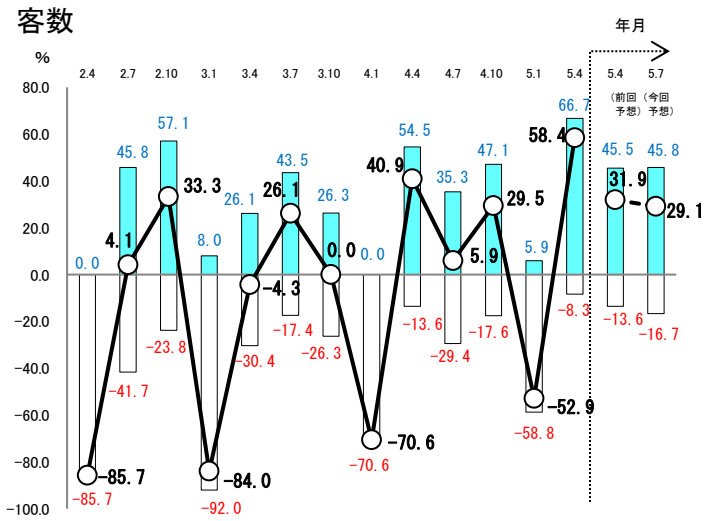
業況



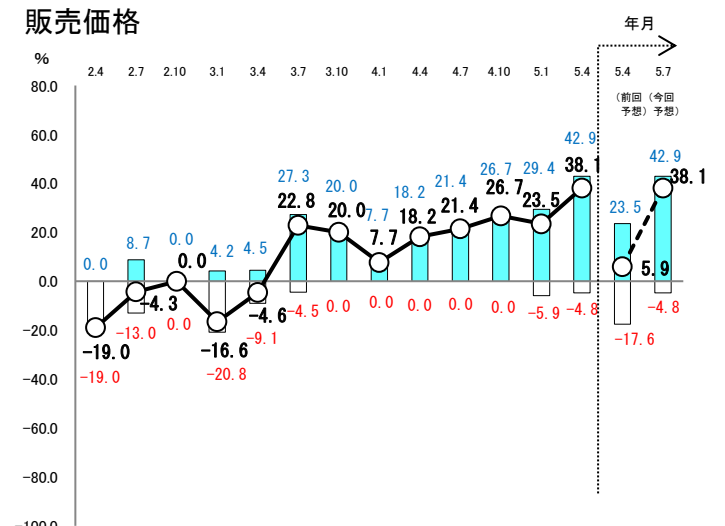
売上高



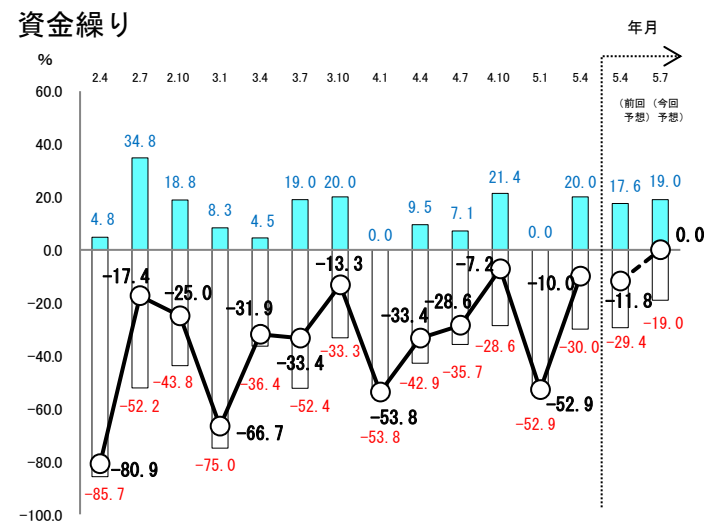
客数



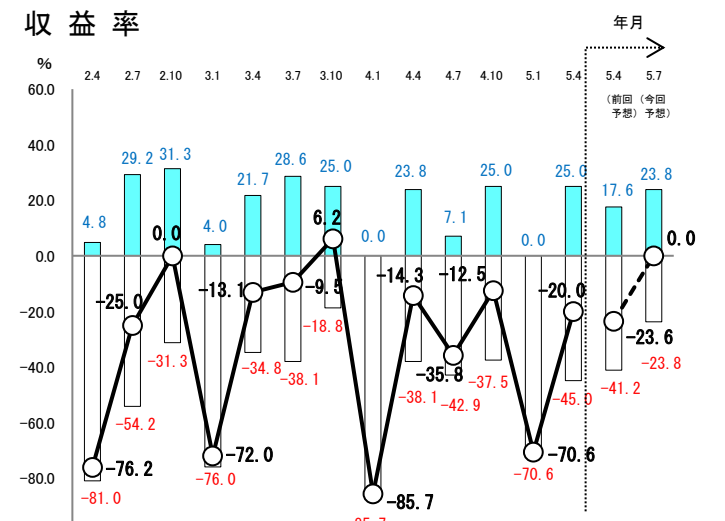
販売価格



資金繰り

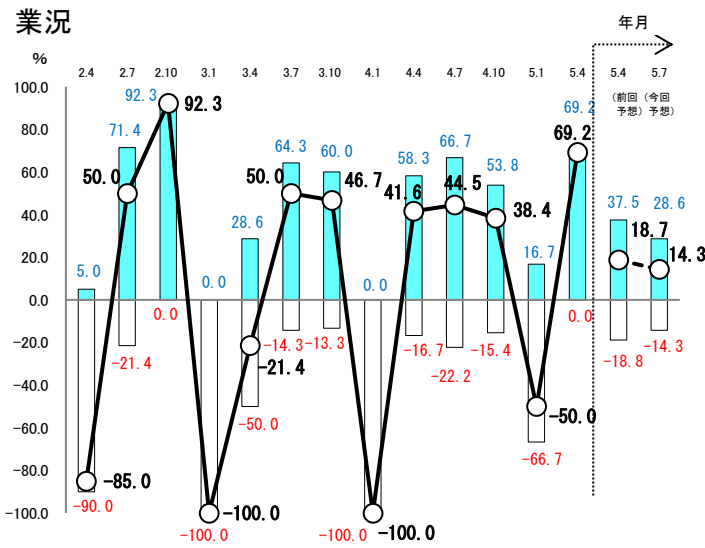


収益率

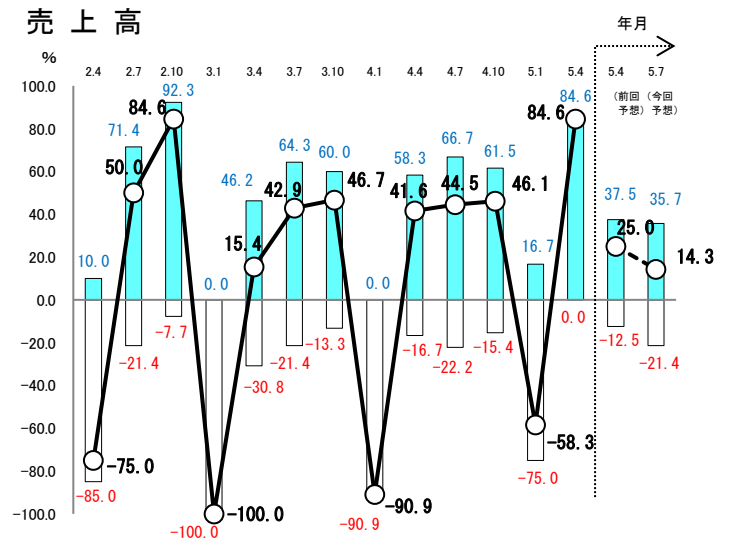


力 宿泊業

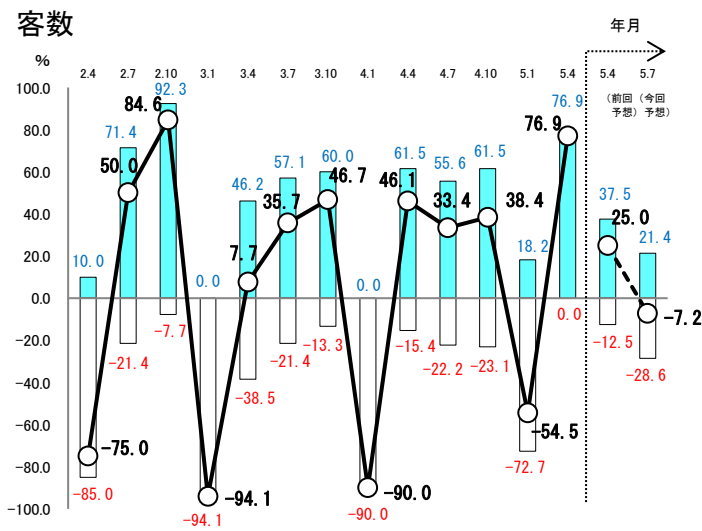
業況



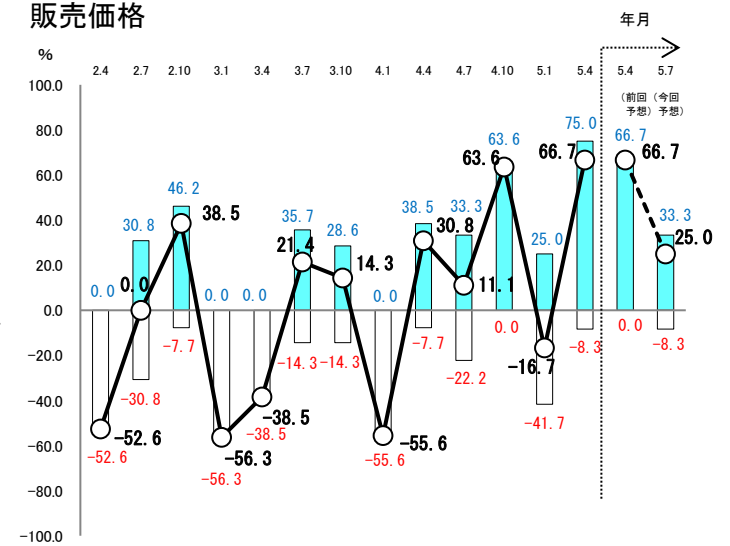
売上高



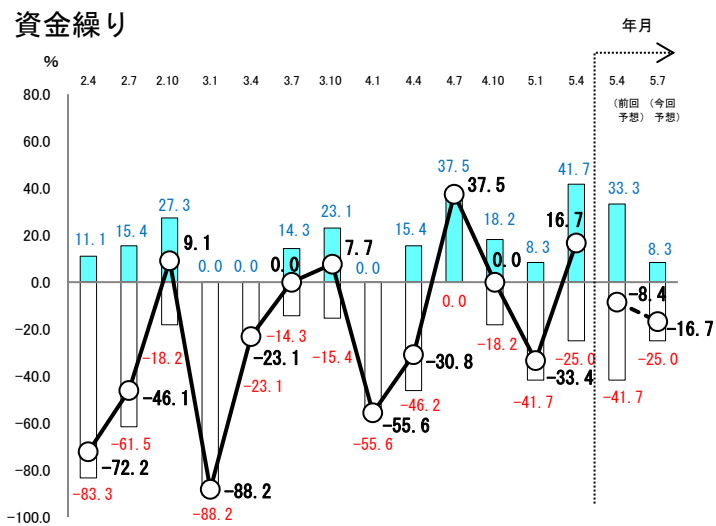
客数



販売価格



資金繰り



収益率

